

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目次

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

- ① 学生の確保の見通し
  - ア 定員充足の見込み
  - イ 定員充足の根拠となる客観的データの概要
  - ウ 学生納付金の設定の考え方
- ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

### (2) 人材需要の動向等社会の要請

- ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）
- ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

# 添付資料 目次

[インデックス番号]

## 【資料1】

過去標準修業年限（4ヶ年）における入学定員超過率の状況 . . . ①

## 【資料2】

京都地域における同一系列学部・学科の志願者等の状況 . . . . . ②

## 【資料3】

18歳人口の推移（近畿地区） . . . . . ③

## 【資料4】

ニーズアセスメント調査報告書 . . . . . ④

## 【資料5】

京都地区大学 入学初年度学費等年間納付額一覧 . . . . . ⑤

## 【資料6】

オープンキャンパス参加人数推移 . . . . . ⑥

## 【資料7】

資料請求者数推移 . . . . . ⑦

## 【資料8】

就職勤務地別卒業生数 . . . . . ⑧

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ① 学生の確保の見通し

#### ア 定員充足の見込み

今回の設置届出については、「設置の趣旨等を記載した書類」で説明した通り、新たに社会学部現代社会学科（入学定員 120 名）と同学部コミュニティデザイン学科（入学定員 100 名）を設置する計画をしている。

その元となる文学部社会学科は、平成 27 年度から平成 29 年度の 3 ヶ年にわたり、志願者数、受験者数、入学者数ともに増加傾向にある。現行入学定員 120 名に対する入学定員超過率は、平成 27 年度は 1.18、平成 28 年度 1.25、平成 29 年度 1.19 と過年度にわたり超過率が高い状況が続いており、入学希望者は一貫して増加している【資料 1】。また、新たに設置予定の社会学部には、現在の文学部人文情報学科（入学定員 100 名）を平成 30 年 4 月に募集停止とし、その教育的資産を付加することを想定している。ちなみに、人文情報学科の過年度の入学定員超過率は、平成 27 年度 0.59、平成 28 年度 0.87、平成 29 年度 0.98 と 1.00 を割りこんでいるものの、徐々に回復の傾向をみせている。こうした直近の状況や不可要素を踏まえ、新たに開設する社会学部の入学定員を 220 名に設定し、超過率を 1.00 に近づけたいと考えている。

本学が所在する京都地区の社会学系学部の過去 5 ヶ年の志願状況は、年度により増減が見られるものの総じて増加傾向にある。特に平成 29 年度は社会学系新学部の設置があり大幅に志願者が増加した。この新学部への志願者を除いた志願者総数で見ても志願者数は大幅に増加しており、京都地域における社会学系学部への関心は高まっている【資料 2】。

長期的な志願者・入学者の確保については、今後 10 年間の 18 歳人口動向は本格的な再急減期に入り、大変厳しい状況下にあると認識しているが、次のとおり入学定員の確保は可能であると考えている。全国における 18 歳人口の減少率は、平成 29 年度から平成 39 年度までの期間に 89.1%と、およそ 11%減少となっている。また本学の志願者・入学者の約 8 割を占める近畿地区 2 府 4 県の 18 歳人口の減少率は、平成 29 年度から平成 39 年度までの期間に 87.8%と、およそ 12%減少となっている【資料 3】。今回実施した「ニーズアセスメント調査」の報告から、「合格した場合、入学したい」と明確な入学意思を示した高校 2 年生（平成 30 年 3 月卒業予定者）が、現代社会学科には 171 名（入学定員 120 名・超過率 1.43）、コミュニティデザイン学科に 122 名（入学定員 100 名・超過率 1.22）いたことがあきらかとなっている。このことにより、今後 10 年で最も 18 歳人口が減少する平成 39 年度入学生で 11～12%の減少が見込まれたとしても、いずれもその入学定員については確保できると予測している。

## イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

社会学部において学生確保の見通しを測定するため、定員充足の根拠となる客観的データを得ることを目的に「ニーズアセスメント調査」を実施した。その調査の実施にあたっては、株式会社紀伊國屋書店・株式会社高等教育総合研究所に委託して実施した【資料4】。

本調査は、平成28年11月から12月にかけて実施し、平成29年度に大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生をアンケートの対象者とした。調査方法としては、アンケート実施の了承が得られた高等学校にアンケート用紙を送付し、各校の教職員から高校2年生（平成30年3月卒業予定者）にアンケート用紙（設問とともに、学科が養成する人物・学びの特色・卒業後の進路・関係学部を持った近隣大学との学費比較等を記載）を配布のうえで、10分間程度の回答時間を設け、終了後、その場で回収し返送する形を取った。

実施にあたっては、本学への志願実績が継続してある全国の公立・私立の高等学校にアンケート実施の可否を尋ね、実施可能と返答があった78校で実施し、8,862人からの協力を得ることができた。調査実施高等学校は、京都府（31校・39.7%）、大阪府（18校・23.1%）、滋賀県（13校・16.7%）の2府1県で79.5%を占めることとなった。また調査実施人数では、78.8%に達した。この数値は、本学平成29年度の京都府・大阪府・滋賀県の志願者実績を合算した全国比率（志願者68.8%・入学者79.0%）であることを踏まえると、ほぼ実態に即した実施ができており、アンケート調査の母集団として妥当なものとする。なお、アンケートにかかる高校や高校生の時間を有効に活用するため、社会学部に関する設問に加え、同時期に設置を計画している教育学部に関する設問も1つのアンケート用紙に統合して実施をした。

有効回答8,862人のうち、高等学校卒業後に大学への進学を希望した者は6,287人（70.9%）。本学社会学部を受験したいと回答した者が672人（7.6%）、受験したいと回答した者のうち、合格した場合、「入学したい」と回答した者が246人（36.6%）であった。そして、「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した者が425人（63.2%）、無回答が1人（0.1%）となった。

クロス集計の結果、社会学部を受験したいと回答し「入学したい」と回答した246名のうち、現代社会学科と回答した者が138名、コミュニティデザイン学科に入学したいと回答した者が99名となった。また社会学部と教育学部の両方を受験したいと回答した137名のうち、現代社会学科に「入学したい」と回答した者が33名、コミュニティデザイン学科に「入学したい」と回答した者が23名となった。これらを合計すると、現代社会学科に「入学したい」と回答した者が合計171名、コミュニティデザイン学科に「入学したい」と回答した者が合計122名、あわせて293名が明確な入学意思を有している

と分析できる。また、「併願の結果によっては入学したい」と回答した 425 人のうち、現代社会学科を選択した者が 264 人、コミュニティデザイン学科を選択した者が 137 人であった。これら潜在的な入学希望者をも想定した場合、今回設置を計画している社会学部現代社会学科（入学定員 120 名）と同学部コミュニティデザイン学科（入学定員 100 名）の入学者の確保は十分可能であると考えられる。

## ウ 学生納付金の設定の考え方

本学の学生納付金の設定額については、平成 23 年に策定したグランドデザイン（平成 24 年度－平成 33 年度）の「管理運営方針」で示した「学長のリーダーシップのもと、教職協働体制を維持強化し、迅速な意思決定を行える体制を構築する。また、大学経営・運営における戦略策定やその遂行に力を発揮することができる教職員を育成するとともに、増収による財政基盤の安定を図る」を踏まえて、総合的な判断から設定している。

平成 14 年度以降、本学の学生納付金は据え置きのまま値上げをひかえてきた。今回の学部設置にあたっては、多様な教育を実現するために必要なスタッフの配置（人件費率）、新教室棟の建築を含めた本部キャンパスの総合整備計画にともなう施設費の改定を考慮し、近畿圏の競合大学の実情との比較を行い、学部ごとに帰属収支のバランスがとれるよう授業料の再設定をおこなった。

この度、新たに設置する社会学部現代社会学科およびコミュニティデザイン学科の学生納付金の設定は、1,190,000 円とした。【資料 5】にもあるとおり、近畿圏の競合校と比較してみても、大きくかけ離れている金額ではなく、社会学部の学生納付金の設定は妥当であると考えている。

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた取組は、以下の 10 つの事業を軸に進めている。

1. 社会学部ホームページの開設
2. 社会学部の新設にあたってシンポジウムの開催
3. 大学・学部紹介パンフレット、コンセプトパンフレットの作成・配布
4. 大学説明会の開催、進学相談会への参加
5. 高校訪問、高校内模擬授業・ガイダンスの実施
6. オープンキャンパスの実施
7. ダイレクトメールの発送
8. 大学の公式 SNS を活用した情報発信
9. 高大連携・接続授業の実施

## 10. 大学進学に関わる諸雑誌への情報掲載

社会学部の両学科では、就任予定の教員が高等学校を訪問し進路指導部との関係を強化するとともに、高校での模擬授業やガイダンスを実施し、学びの具体的内容や卒業した場合の進路について、直接高校生に説明する機会を設けている。さらに、社会学部就任予定の教員がチームを編成して、毎月、高校生や保護者、地域の方々を対象としたリレー方式のイベントを計画し、より適切に学生を確保するための取組を行っている。これらの取組により、2016年度のオープンキャンパスの参加者数は増加し、総来場者3,575名（昨年比104%増）の参加者を得ることができた【資料6】。そのことに加え、社会学部への進学・関心を示す文学部社会学科の資料請求者数が2,252件（昨年比134.2%）となっており、本学社会学系学部・学科への関心が高まっていることの証左と言える【資料7】。

なお本年度は、開設準備の一環として2017年5月21日（日）に、社会学部の新設予定であることを踏まえたシンポジウム「社会×地域 ― Be Real 地域社会のこれからを考える ―」の開催を予定している。これは新しい社会学部が、どのような責務を持ち、どのような教育を展開し、何に貢献していくのかを、高校生・高等学校教諭や保護者、さらに広く一般市民の方々に伝え、社会的認知度を高めようとしている。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

社会学部現代社会学科では、「社会学的考察力、調査分析力を養い、社会現象を的確に捉え、社会と人の関係や問題と向き合うことができる」ことを教育の特色とし、現代社会の諸課題を多角的に分析でき、解決の根拠となる調査やそのスキルを身につけた人物養成を目的としている。本学科において身につけた力をいかし、卒業後は、報道・出版・販売・サービス・観光・銀行、あるいは国家公務員・地方公務員、自営業・起業家などといった職種に就くことを想定している。

コミュニティデザイン学科では、「演習と実習を連動させたプロジェクト型学習に取り組み、人と人をつなぎ、活力ある地域<コミュニティ>を創造<デザイン>していく」ことを教育の柱に据え、地域におけるさまざまな課題に向きあい、まちづくりや福祉の相談・援助など、実践的な手法を学びながら解決の方向を見出していける人物養成を目的としている。本学科において身につけた力をいかし、地域をフィールドに学びを進めることから、社会貢献活動をマネジメントするNPO・教育・医療・福祉・公共交通・通信

などの公共団体、または、国家公務員・地方公務員、観光・販売・銀行・社会的起業家などの職種が主な卒業後の進路として想定している。

## ② 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

社会学部現代社会学科・コミュニティデザイン学科の設置について、各学科で養成しようとする人物に関する社会的、地域的な人材需要の見通しを測定するために「人材需要の見通しに関するアンケート調査を実施した。その調査の実施にあたっては、株式会社紀伊國屋書店・株式会社高等教育総合研究所に委託して実施した【資料4】。

本調査は、平成28年11月から12月にかけて実施し、大谷大学文学部社会学科の卒業生がこれまでに就職した実績のある企業・公的機関・団体・福祉施設をはじめ、今後就職が期待できる団体等を加え、計1,657社・施設を調査対象とした。

調査方法としては、調査対象先の採用担当者宛てにアンケート調査用紙1部・依頼状・返信用封筒を送付し、協力可能な場合、回答済みのアンケート調査用紙を返送する形を取った。有効回答をいただいた企業・団体・施設の数 は 379 件で、アンケートの回収率は22.9%となった。また調査の性質上、現代社会学科・コミュニティデザイン学科の概要（養成する人物・学びの特色・卒業後の進路・取得できる資格）を添付し、2つの学科について回答いただく設問形式を取った。

回答をいただいた企業の構成は、卸売・小売業（30.1%）、医療・福祉（25.6%）、製造業（13.7%）を中心に、幅広い業種から回答を得ることができた。団体・施設からは、地方自治体、社会福祉協議会、社会福祉施設からの回答を得た。

なお、回答があった企業・公的機関・団体の所在地（本社・主たる事業所等）は、京都府（137社・施設、36.1%）、大阪府（112社・施設、29.6%）、滋賀県（66社・施設、17.4%）の2府1県で約80%を占めた。これは、本学卒業生の勤務地別比率を見た場合、京都府・大阪府・滋賀県で約70%を占めていることとリンクしており、概ね実態に即したアンケートが実施できたと考えている【資料8】。

有効回答379件の調査結果概要は、以下の通りとなった。

現代社会学科が養成する人物の社会的ニーズを問う設問に対して、「極めて高い」が60社・団体（15.8%）、「ある程度高い」が195社・団体（51.5%）となり、あわせて255社・団体（67.3%）の回答を得ることができた。コミュニティデザイン学科については「極めて高い」が84社・団体（22.2%）、「ある程度高い」が188社・団体（49.6%）となり、あ

わせて 272 社・団体（71.8%）という回答であった。両学科とも、必要性を認められる学科であるということが出来る結果となった。

次に、現代社会学科とコミュニティデザイン学科が育成する人物を将来採用したいと思うかどうか、および現時点で採用可能と思われる人数を問う設問を立てた。採用可能な具体的な人数について、「未定」「数人」「若干」「不明」「無回答」も採用意向があると考えられることから「1名」と換算し算出した。

その結果、現代社会学科の卒業予定者に対し採用意向を示したのは 234 社・団体。採用可能人数は 402 名となった。またコミュニティデザイン学科の卒業予定者に対し採用意向を示したのは 239 社・団体。採用可能人数は 432 名となった。

以上により、また本アンケートの協力状況ともあわせ、社会学部現代社会学科・コミュニティデザイン学科の卒業予定者に対する企業・公的機関・団体や地域からのニーズは高く、卒業後の就職先については十分に確保されていると考えている。



標準修業年限（4ケ年）における平均入学定員超過率  
（大谷大学）

2017年04月20日 現在

学部等名	項目	平成29年度 2017年度	平成28年度 2016年度	平成27年度 2015年度	平成26年度 2014年度	平均 入学定員超過率
文学部合計	入学定員超過率	(1.14)	(1.01)	(1.00)	(1.06)	(1.05)
	志願者数	3,343	3,053	2,068	2,290	
	受験者数	3,189	2,866	2,029	2,249	
	合格者数	2,243	2,171	1,647	1,655	
	入学者数	854	758	750	806	
	入学定員	745	745	745	760	
真宗学科	入学定員超過率	(0.74)	(0.75)	(0.95)	(1.01)	(0.86)
	志願者数	119	106	115	114	
	受験者数	114	103	114	114	
	合格者数	100	100	110	109	
	入学者数	52	53	67	71	
	入学定員	70	70	70	70	
仏教学科	入学定員超過率	(1.88)	(0.80)	(0.80)	(0.38)	(0.96)
	志願者数	174	95	66	38	
	受験者数	171	92	64	38	
	合格者数	171	89	63	37	
	入学者数	47	20	20	23	
	入学定員	25	25	25	60	
哲学科	入学定員超過率	(0.81)	(0.73)	(0.56)	(0.80)	(0.72)
	志願者数	162	167	87	127	
	受験者数	153	150	85	125	
	合格者数	144	137	81	109	
	入学者数	49	44	34	48	
	入学定員	60	60	60	60	
社会学科	入学定員超過率	(1.19)	(1.25)	(1.18)	(1.24)	(1.21)
	志願者数	624	627	406	390	
	受験者数	593	590	402	383	
	合格者数	365	392	299	285	
	入学者数	143	150	142	124	
	入学定員	120	120	120	100	
歴史学科	入学定員超過率	(1.23)	(1.22)	(1.31)	(1.26)	(1.25)
	志願者数	531	537	374	397	
	受験者数	501	505	365	391	
	合格者数	316	382	314	315	
	入学者数	123	122	131	126	
	入学定員	100	100	100	100	
文学科	入学定員超過率	(1.61)	(1.14)	(1.20)	(1.38)	(1.33)
	志願者数	442	420	254	284	
	受験者数	425	396	249	279	
	合格者数	282	281	204	191	
	入学者数	113	80	84	97	
	入学定員	70	70	70	70	
国際文化学科	入学定員超過率	(1.20)	(0.79)	(0.94)	(0.94)	(0.96)
	志願者数	378	312	210	225	
	受験者数	368	287	209	221	
	合格者数	337	267	198	208	
	入学者数	120	79	94	94	
	入学定員	100	100	100	100	
人文情報学科	入学定員超過率	(0.98)	(0.87)	(0.59)	(1.09)	(0.88)
	志願者数	288	247	140	198	
	受験者数	278	243	136	195	
	合格者数	249	224	124	177	
	入学者数	98	87	59	109	
	入学定員	100	100	100	100	
教育・心理学科	入学定員超過率	(1.09)	(1.23)	(1.19)	(1.14)	(1.16)
	志願者数	625	542	416	517	
	受験者数	586	500	405	503	
	合格者数	279	299	254	224	
	入学者数	109	123	119	114	
	入学定員	100	100	100	100	

\* 志願者数・受験者数・合格者数は、第2志望による志願者数・受験者数・合格者数を含んだ数

\* 文科省「学校基本調査」に準じて、第2志望による志願者数・受験者数・合格者数は、実際に入学した数を志願者数・受験者数

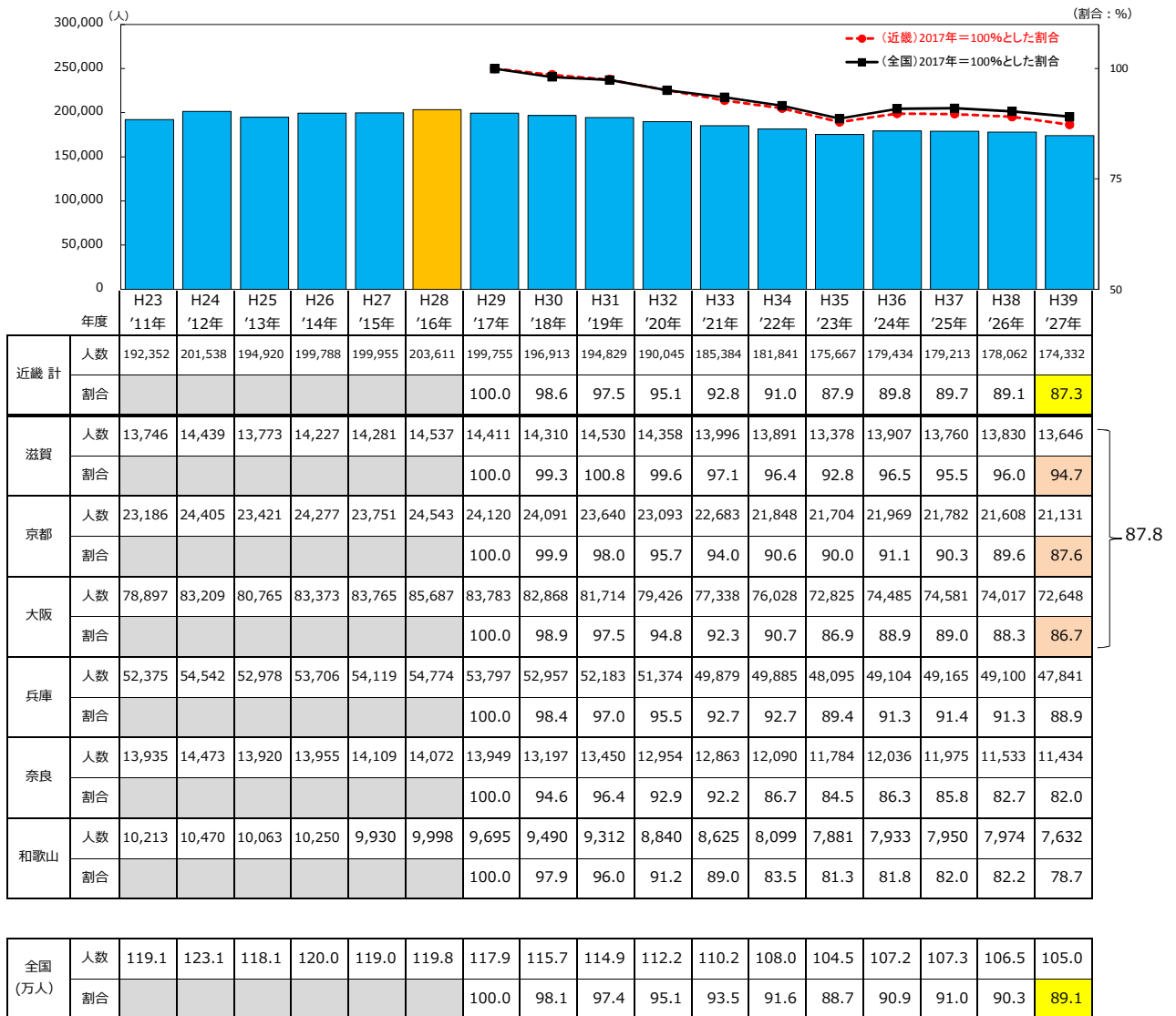
## 京都地区大学 社会学系学部 志願者推移

大学	学部	学科	志願者数				
			2013	2014	2015	2016	2017
京都産業大学	現代社会学部	現代社会学科					5,458
京都産業大学	現代社会学部	健康スポーツ社会学科					3,419
龍谷大学	社会学部	社会学科	2,689	2,547	2,724	2,711	3,277
同志社女子大学	現代社会学部	社会システム学科	2,770	2,935	2,532	2,166	2,736
佛教大学	社会学部	現代社会学科	2,198	2,194	2,633	2,315	2,622
京都女子大学	現代社会学部	現代社会学科	1,634	1,790	1,675	1,757	1,639
龍谷大学	社会学部	コミュニティマネジメント学科	1,193	1,469	1,141	1,734	1,396
同志社大学	社会学部	社会学科	985	1,068	1,046	897	1,366
同志社大学	社会学部	産業関係学科	899	955	778	559	1,152
京都文教大学	総合社会学部	総合社会学科	1,066	820	730	688	746
大谷大学	文学部	社会学科	443	390	406	627	624
合 計			13,877	14,168	13,665	13,454	24,435

(株)リクルートマーケティングパートナーズ調べ (学部・学科別の総志願者数)

2017年度志願者数については、大学ホームページに公開されている数値を本学で足しあげて計算したもの

■18歳人口の推移 (近畿)



●2016年度「学校基本調査」より算出  
 ●18歳人口=3年前の中学校卒業生及び中等教育前期課程修了者数  
 ※表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。

【資料提供】リクルート進学総研

大谷大学  
～社会学部(仮称)～  
設置に係るニーズアセスメント調査 報告書

平成 29 年 3 月 9 日

株式会社紀伊國屋書店  
株式会社高等教育総合研究所

# 目次

## 1章 学生確保の見通し調査～社会学部(仮称)～

### 【設置構想についての高校生アンケート調査】結果

	1
1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要	2
2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」調査実施高等学校	3
3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果	6
4. 「設置構想についての高校生アンケート調査」調査結果の分析	11
5. 「設置構想についての高校生アンケート調査」まとめ	20

## 2章 人材需要の見通し調査～社会学部(仮称)～

### 【設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査】結果

	23
1. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」概要	24
2. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」集計結果	25
3. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」調査結果の分析	30
4. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」記述式設問に対する自由回答	37
5. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」まとめ	43

## 添付資料

【添付①】「社会学部・教育学部 設置構想についての高校生アンケート調査」	46
【添付②】「社会学部 設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」	54

# 1章

## 学生確保の見通し調査

～社会学部(仮称)～

【設置構想についての高校生アンケート調査】

結 果

## 1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要

- ◆調査の目的：本調査は、大谷大学が平成30年4月に設置を予定する社会学部（仮称）の学生募集のニーズを、大学外の第三者機関により、高校生へのアンケートを用いて計ることを目的とする。
- ◆調査期間：平成28年11月～平成28年12月
- ◆調査方法：調査対象の高等学校にアンケート調査協力の依頼を行い、承諾が得られた各校に社会学部（仮称）の説明が入ったアンケート用紙を送付し実施した。各校の教職員から調査対象者（高等学校2年生）にアンケート用紙を配布のうえ、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
- ◆調査対象：平成28年度に高等学校第2学年に在籍している生徒。（高等学校2年生＝アンケート対象者のうち大学進学希望者は、平成30年3月に高等学校を卒業し、同年4月に大学に進学予定である。）
- ◆調査内容：13問の選択肢式の設問。  
注．問9・問10は問6で平成30年4月に設置を予定する「教育学部(仮称)を受験したい」を選択した者に対する設問。  
（主な質問項目）
  - ★回答者の基本情報、希望進路について
  - ★社会学部（仮称）への進学意欲について
- ◆有効回答件数：78高等学校 / 8,862件（1高校あたり平均113.6件の実施）  
依頼高等学校数：435校（内の調査協力高等学校の割合：17.9%）  
注．依頼高等学校数(435校)には中等教育学校が1校含まれているが、集計上は高等学校としている。実施高等学校数(78校)には中等教育学校(1校)は存在しない。
- ◆調査実施主体：株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所

## 2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」調査実施高等学校

### 2-1 【調査対象高等学校の選定】

調査対象となる高等学校は435校としたが、その選定方針は次のとおりである。

- (1) 大谷大学志願者の多数を占める2府1県(京都府、大阪府、滋賀県)の高等学校(全日制課程)については、大学合格実績および系列大学の有無等を精査し調査対象とする。
- (2) 上記(1)以外に立地する高等学校(全日制課程)については、近年の志願者状況および地域性を考慮し調査対象とする。
- (3) 上記(1)(2)以外に大谷大学と同じく真宗大谷派学校連合会に加盟している高等学校(全日制課程)はすべて調査対象とする。

表1 立地別・設置者別の調査対象高等学校数(435校) [公立=281校、私立=154校]

立地	公立	私立	合計	立地	公立	私立	合計
北海道	1校	5校	6校	兵庫県	15校	5校	20校
富山県	2校		2校	奈良県	9校	4校	13校
石川県	3校	4校	7校	和歌山県	5校	1校	6校
福井県	2校	1校	3校	鳥取県	3校		3校
長野県		2校	2校	島根県	1校		1校
岐阜県	2校		2校	広島県		1校	1校
愛知県		5校	5校	香川県	1校		1校
三重県	1校	1校	2校	高知県	1校		1校
滋賀県	44校	9校	53校	福岡県		1校	1校
京都府	52校	30校	82校	大分県		1校	1校
大阪府	139校	84校	223校				



## 2-2 【調査実施高等学校の立地の分布】

アンケート調査を実施した高等学校と、調査実施人数の立地別の分布は以下の表2の通りである。

表2 調査実施高等学校数と調査実施人数の立地別の分布

立地	調査実施高等学校数		調査実施人数	
	校数	割合	人数	割合
北海道	3校	3.8%	530人	6.0%
石川県	1校	1.3%	52人	0.6%
福井県	1校	1.3%	74人	0.8%
長野県	2校	2.6%	203人	2.3%
愛知県	4校	5.1%	480人	5.4%
滋賀県	13校	16.7%	1,681人	19.0%
京都府	31校	39.7%	3,532人	39.9%
大阪府	18校	23.1%	1,767人	19.9%
兵庫県	1校	1.3%	107人	1.2%
奈良県	2校	2.6%	382人	4.3%
和歌山県	1校	1.3%	45人	0.5%
大分県	1校	1.3%	9人	0.1%
計	78校	100.0%	8,862人	100.0%

調査実施高等学校数は、2府1県(京都府、大阪府、滋賀県)を合わせると79.5%(39.7%+23.1%+16.7%)を占め、調査実施人数では、78.8%(39.9%+19.9%+19.0%)に達している。

大谷大学の平成28年度入学試験において、総志願者のうち出身高等学校が2府1県(京都府、大阪府、滋賀県)の志願者比率が69.3%(京都府:35.3%、大阪府:13.4%、滋賀県:20.6%)を占めていることを考慮すれば、ほぼ実態に即して実施できており、入口調査アンケートの母集団としては妥当なものである。

## 2-3 【調査実施高等学校の設置者別の割合】

アンケート調査を実施した高等学校の設置者別では、公立が33校(42.3%)、私立が45校(57.7%)となった。(表3参照)

表3 調査実施高等学校および実施人数の設置者別の割合

設置者	調査実施高等学校数		調査実施人数	
	校数	割合	人数	割合
公立	33校	42.3%	2,903人	32.8%
私立	45校	57.7%	5,959人	67.2%
計	78校	100.0%	8,862人	100.0%

## 2-4 【立地別の高等学校数および高等学校第2学年在籍生徒数に対する調査実施率】

アンケート調査実施総件数(78校・8,862人)について、立地別の高等学校数(全日制)および高等学校第2学年在籍生徒数(全日制)に対する調査実施率は表4の通りである。

所在地である京都府の調査実施率は、高等学校数で31.0%、高等学校第2学年生徒数で15.1%となった。全体(1道2府9県)の調査実施率は、高等学校数で5.5%、高等学校第2学年生徒数では2.7%であった。

表4 立地別の高等学校数および高等学校第2学年生徒数に対する調査実施比率

立地	調査実施 高等学校数	高等学校数	調査実施率	調査実施 人数	高等学校 第2学年生徒数	調査実施率
北海道	3校	274校	1.1%	530人	41,101人	1.3%
石川県	1校	51校	2.0%	52人	10,559人	0.5%
福井県	1校	33校	3.0%	74人	7,262人	1.0%
長野県	2校	97校	2.1%	203人	18,937人	1.1%
愛知県	4校	218校	1.8%	480人	64,992人	0.7%
滋賀県	13校	58校	22.4%	1,681人	12,750人	13.2%
京都府	31校	100校	31.0%	3,532人	23,389人	15.1%
大阪府	18校	253校	7.1%	1,767人	76,702人	2.3%
兵庫県	1校	194校	0.5%	107人	45,969人	0.2%
奈良県	2校	50校	4.0%	382人	12,081人	3.2%
和歌山県	1校	45校	2.2%	45人	8,862人	0.5%
大分県	1校	57校	1.8%	9人	10,231人	0.1%
計	78校	1,430校	5.5%	8,862人	332,835人	2.7%

注. 高等学校数および第2学年生徒数は全日制課程の数値

出所: 学校基本調査(平成28年度)

### 3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果

問1【性別】性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	男性	4,256	48.0%
2	女性	4,427	50.0%
	無回答	179	2.0%
	計	8,862	100.0%

## 問2【居住地】居住地(寮生等の場合は出身地)をお答えください。(あてはまる番号を記入)

	選択肢	回答数	構成比
1	北海道	534	6.0%
2	青森県	7	0.1%
4	宮城県	1	0.0%
5	秋田県	1	0.0%
6	山形県	2	0.0%
7	福島県	1	0.0%
8	茨城県	2	0.0%
9	栃木県	2	0.0%
10	群馬県	7	0.1%
11	埼玉県	1	0.0%
12	千葉県	1	0.0%
13	東京都	10	0.1%
14	神奈川県	2	0.0%
15	新潟県	3	0.0%
16	富山県	1	0.0%
17	石川県	53	0.6%
18	福井県	74	0.8%
20	長野県	202	2.3%
21	岐阜県	10	0.1%
22	静岡県	3	0.0%
23	愛知県	476	5.4%
24	三重県	6	0.1%
25	滋賀県	1,769	20.0%
26	京都府	3,215	36.3%
27	大阪府	1,804	20.4%
28	兵庫県	226	2.6%
29	奈良県	380	4.3%
30	和歌山県	21	0.2%
31	鳥取県	2	0.0%
32	島根県	1	0.0%
33	岡山県	2	0.0%
34	広島県	3	0.0%
36	徳島県	3	0.0%
37	香川県	1	0.0%
38	愛媛県	1	0.0%
39	高知県	1	0.0%
40	福岡県	6	0.1%
41	佐賀県	1	0.0%
44	大分県	3	0.0%
47	沖縄県	9	0.1%
	無回答	15	0.2%
	計	8,862	100.0%

回答のあった選択肢のみ記載。

**問3 【卒業後の進路】** 高校卒業後の希望進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	大学	6,287	70.9%
2	短期大学	1,059	11.9%
3	専門学校	2,094	23.6%
4	就職	959	10.8%
5	その他	180	2.0%

回答者数=8,862

**問4 【志望分野】** 興味・関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	文学・歴史・心理	1,792	20.2%
2	経済・経営・商学	1,790	20.2%
3	法学・政治	580	6.5%
4	社会・社会福祉・観光	874	9.9%
5	外国語・国際関係	1,323	14.9%
6	教育・保育	1,811	20.4%
7	理学・工学・情報	1,008	11.4%
8	農・畜産・水産	304	3.4%
9	医学・歯学・薬学	520	5.9%
10	看護・医療技術	1,071	12.1%
11	栄養・家政	703	7.9%
12	スポーツ・健康科学	1,251	14.1%
13	芸術	845	9.5%
14	その他	693	7.8%

回答者数=8,862

**問5 【希望進路】** 将来、希望する進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	一般企業	3,718	42.0%
2	公務員・団体職員	2,101	23.7%
3	教員	1,262	14.2%
4	資格をいかす職業	2,774	31.3%
5	研究・技術職	584	6.6%
6	起業・会社経営	463	5.2%
7	医療・福祉施設	1,292	14.6%
8	その他	682	7.7%

回答者数=8,862

**問6** 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)または教育学部(仮称)を受験したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	社会学部(仮称)を受験したい	672	7.6%
2	教育学部(仮称)を受験したい	779	8.8%
3	社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい	137	1.5%
4	社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない	7,147	80.6%
	無回答	127	1.4%
	計	8,862	100.0%

問7・問8は問6で「1. 社会学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

**問7** 社会学部(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	入学したい	246	36.6%
2	併願大学の結果によっては入学したい	425	63.2%
	無回答	1	0.1%
	計	672	100.0%

**問7-2** 問7で2を選択された方は併願先をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	他大学の社会学部	166	39.1%
2	他大学の社会学部 <del>以外</del> の学部	148	34.8%
3	大谷大学文学部	18	4.2%
4	その他	18	4.2%

回答者数=425

**問8** 社会学部(仮称)で「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」と思っている学科をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	コミュニティデザイン学科(仮称)	236	35.1%
2	現代社会学科(仮称)	402	59.8%
	無回答	34	5.1%
	計	672	100.0%

問9・問10は問6で「2. 教育学部(仮称)を受験したい」を選択された779人が回答対象のため、本報告書では記載を省略する。

問11は問6で「3. 社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

問11 受験し合格した場合、入学したいと思う学部・学科をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

	選択肢	回答数	構成比
1	社会学部 コミュニティデザイン学科(仮称)	23	16.8%
2	社会学部 現代社会学科(仮称)	33	24.1%
3	教育学部 教育学科-初等教育コース(仮称)	37	27.0%
4	教育学部 教育学科-幼児教育コース(仮称)	17	12.4%
5	他大学社会学系統の学部・学科	8	5.8%
6	他大学教育学系統の学部・学科	5	3.6%
7	その他	6	4.4%
	無回答	8	5.8%
	計	137	100.0%

以下の問12・問13は、問6で「4. 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」を選択された方がお答えください。

問12 「社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」と回答された理由をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○印)

	選択肢	回答数	回答率
1	構想内容に魅力を感じないから	954	13.3%
2	興味・関心のある学問分野ではないから	3,883	54.3%
3	興味・関心のある学問分野であるが、他大学への進学を目指しているから	871	12.2%
4	自宅から通学が不便だから	639	8.9%
5	もっと詳しい情報を得た上で検討したいから	976	13.7%
6	学費が高いから	527	7.4%
7	大学進学はしないから(短期大学・専門学校への進学や就職を希望)	1,269	17.8%
8	その他	264	3.7%

回答者数=7,147

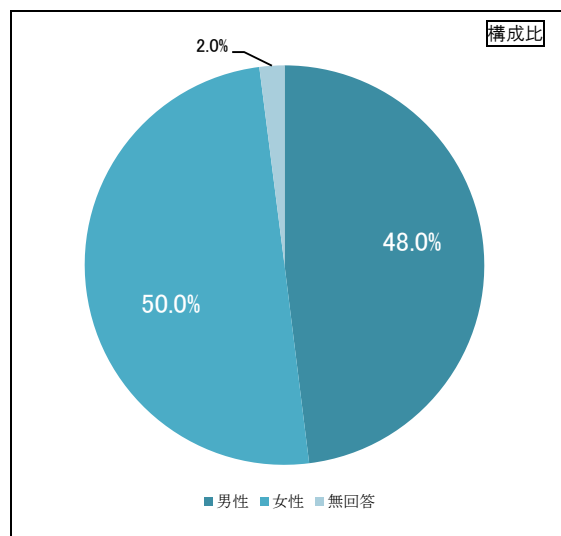
問13 あなたは現時点で大谷大学文学部を受験したいと思っていますか。(あてはまるもの1つに○印)

	選択肢	回答数	構成比
1	受験したい	142	2.0%
2	受験しない	6,768	94.7%
	無回答	237	3.3%
	計	7,147	100.0%

## 4. 「設置構想についての高校生アンケート調査」調査結果の分析

問1【性別】性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	男性	4,256	48.0%
2	女性	4,427	50.0%
	無回答	179	2.0%
	計	8,862	100.0%

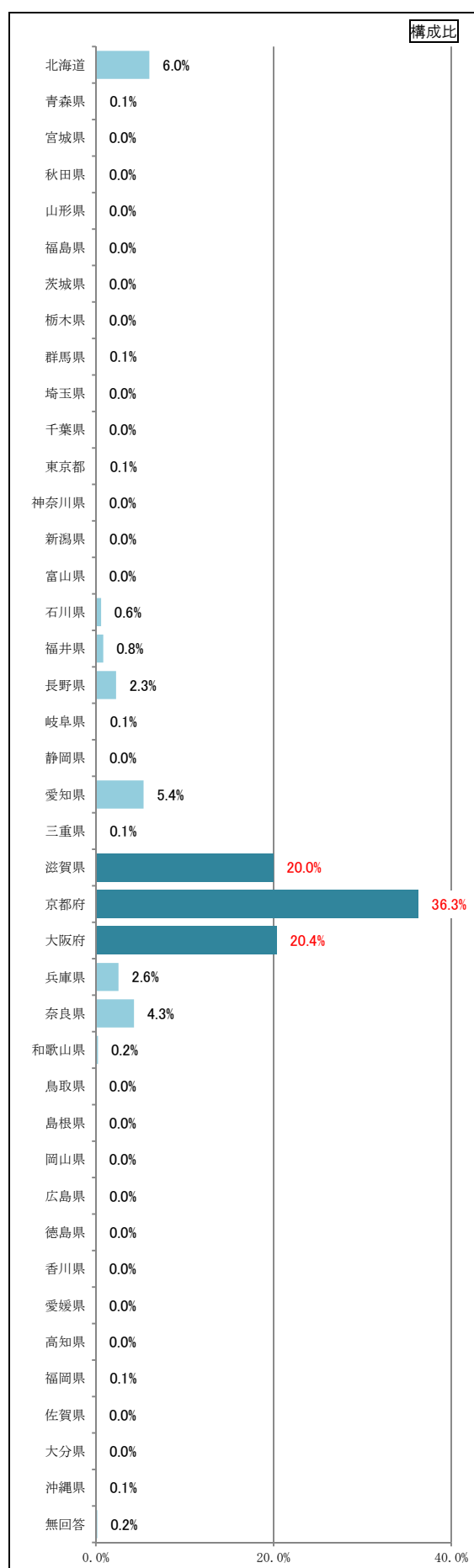


上記問1において、回答者の性別を質問した。総回答者数8,862人のうち、48.0%が男性、50.0%が女性であり(無回答が2.0%)、構成比では女性が男性より2.0(50.0-48.0)ポイント高かった。



## 問2【居住地】居住地(寮生等の場合は出身地)をお答えください。(あてはまる番号を記入)

	選択肢	回答数	構成比
1	北海道	534	6.0%
2	青森県	7	0.1%
4	宮城県	1	0.0%
5	秋田県	1	0.0%
6	山形県	2	0.0%
7	福島県	1	0.0%
8	茨城県	2	0.0%
9	栃木県	2	0.0%
10	群馬県	7	0.1%
11	埼玉県	1	0.0%
12	千葉県	1	0.0%
13	東京都	10	0.1%
14	神奈川県	2	0.0%
15	新潟県	3	0.0%
16	富山県	1	0.0%
17	石川県	53	0.6%
18	福井県	74	0.8%
20	長野県	202	2.3%
21	岐阜県	10	0.1%
22	静岡県	3	0.0%
23	愛知県	476	5.4%
24	三重県	6	0.1%
25	滋賀県	1,769	20.0%
26	京都府	3,215	36.3%
27	大阪府	1,804	20.4%
28	兵庫県	226	2.6%
29	奈良県	380	4.3%
30	和歌山県	21	0.2%
31	鳥取県	2	0.0%
32	島根県	1	0.0%
33	岡山県	2	0.0%
34	広島県	3	0.0%
36	徳島県	3	0.0%
37	香川県	1	0.0%
38	愛媛県	1	0.0%
39	高知県	1	0.0%
40	福岡県	6	0.1%
41	佐賀県	1	0.0%
44	大分県	3	0.0%
47	沖縄県	9	0.1%
	無回答	15	0.2%
	計	8,862	100.0%



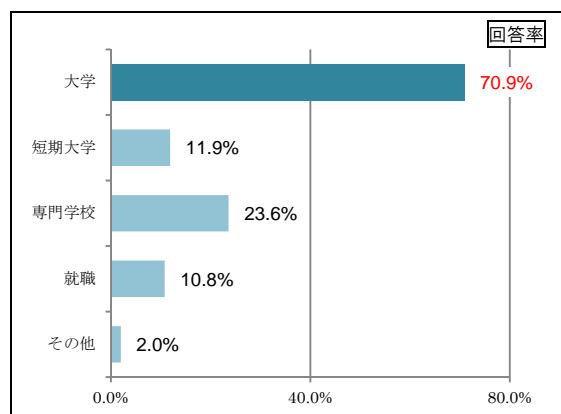
回答のあった選択肢のみ記載。

上記問2において、回答者の居住地を質問した。「26 京都府」が最も多く、36.3%(3,215人)となった。次いで、「27 大阪府」が20.4%(1,804人)、微差で「25 滋賀県」が20.0%(1,769人)と続いた。上位2府1県(京都府、大阪府、滋賀県)を合わせると全体の76.7%(6,788人)を占めた。

**問3【卒業後の進路】** 高校卒業後の希望進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	大学	6,287	70.9%
2	短期大学	1,059	11.9%
3	専門学校	2,094	23.6%
4	就職	959	10.8%
5	その他	180	2.0%

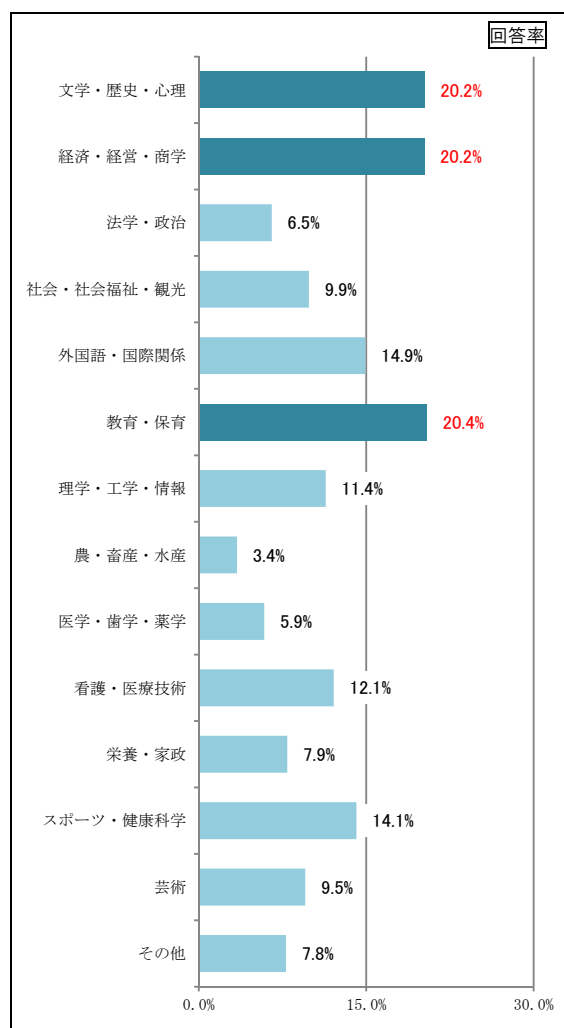
回答者数=8,862



上記問3において、回答者の高校卒業後の希望進路を質問した(複数回答可)。70.9%(6,287人)の「1 大学」が最も多く、23.6%(2,094人)の「3 専門学校」、11.9%(1,059人)の「2 短期大学」と続いた。

## 問4 【志望分野】興味・関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

	選択肢	回答数	回答率
1	<u>文学・歴史・心理</u>	<u>1,792</u>	<u>20.2%</u>
2	<u>経済・経営・商学</u>	<u>1,790</u>	<u>20.2%</u>
3	法学・政治	580	6.5%
4	社会・社会福祉・観光	874	9.9%
5	外国語・国際関係	1,323	14.9%
6	<u>教育・保育</u>	<u>1,811</u>	<u>20.4%</u>
7	理学・工学・情報	1,008	11.4%
8	農・畜産・水産	304	3.4%
9	医学・歯学・薬学	520	5.9%
10	看護・医療技術	1,071	12.1%
11	栄養・家政	703	7.9%
12	スポーツ・健康科学	1,251	14.1%
13	芸術	845	9.5%
14	その他	693	7.8%

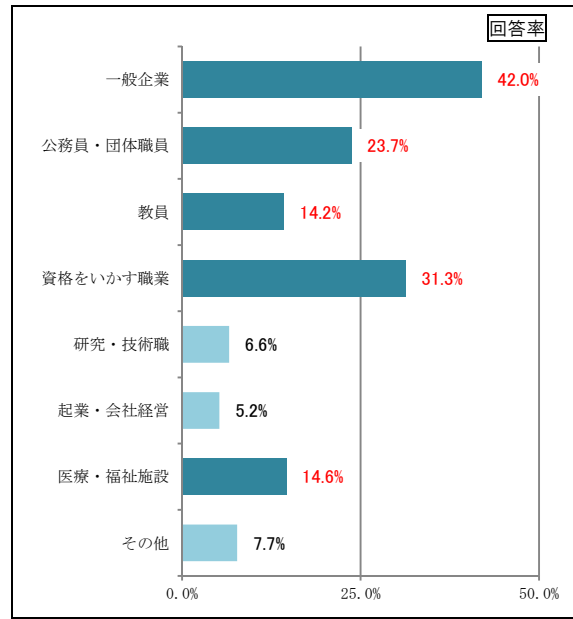


回答者数=8,862

上記問4において、回答者の興味・関心のある学問分野を質問した(複数回答可)。「6 教育・保育」が20.4%(1,811人)と最も多く、次いで「1 文学・歴史・心理」が20.2%(1,792人)、「2 経済・経営・商学」が20.2%(1,790人)と続いたが、上位3分野はほぼ同程度の回答率となった。

**問5 【希望進路】 将来、希望する進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)**

選択肢	回答数	回答率
1 一般企業	3,718	42.0%
2 公務員・団体職員	2,101	23.7%
3 教員	1,262	14.2%
4 資格をいかす職業	2,774	31.3%
5 研究・技術職	584	6.6%
6 起業・会社経営	463	5.2%
7 医療・福祉施設	1,292	14.6%
8 その他	682	7.7%

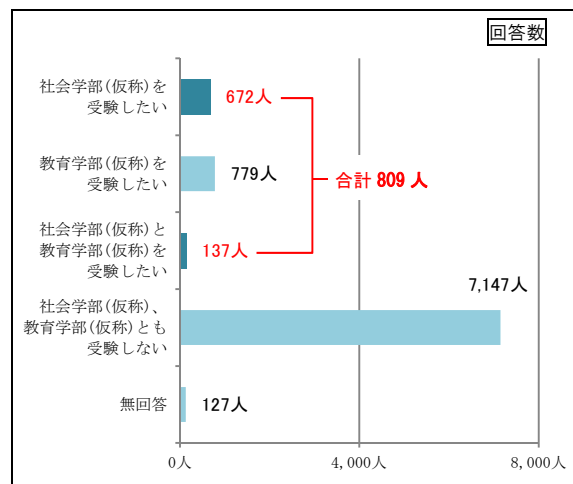


回答者数=8,862

上記問5において、回答者の将来希望する進路を質問した(複数回答可)。「1 一般企業」が42.0%(3,718人)と最も多かった。以下、10%超の回答は「4 資格をいかす職業」の31.3%(2,774人)、「2 公務員・団体職員」の23.7%(2,101人)、「7 医療・福祉施設」の14.6%(1,292人)、「3 教員」の14.2%(1,262人)であった。

**問6 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)または教育学部(仮称)を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○印)**

選択肢	回答数	構成比
1 社会学部(仮称)を受験したい	672	7.6%
2 教育学部(仮称)を受験したい	779	8.8%
3 社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい	137	1.5%
4 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない	7,147	80.6%
無回答	127	1.4%
計	8,862	100.0%

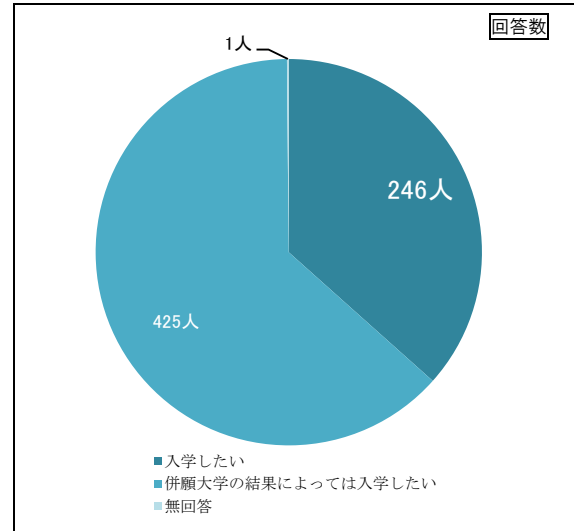


上記問6において、社会学部(仮称)と教育学部(仮称)に対する受験意志を質問した。「4 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」が突出して多く、7,147人(80.6%)であった。社会学部(仮称)への受験意志を示す選択肢は「1 社会学部(仮称)を受験したい」と「3 社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい」であり、合わせると809人(9.1%)となった。

問7・問8は問6で「1 社会学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

**問7** 社会学部(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

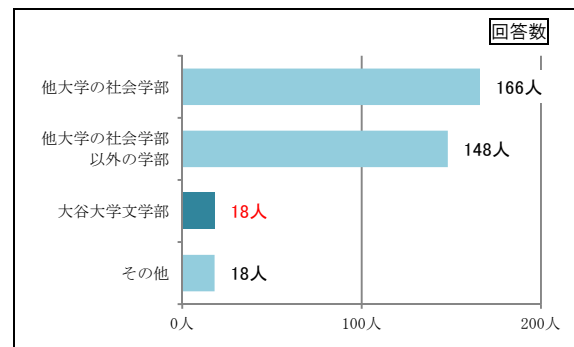
選択肢		回答数	構成比
1	<u>入学したい</u>	246	36.6%
2	併願大学の結果によっては入学したい	425	63.2%
	無回答	1	0.1%
	計	672	100.0%



上記問7において、問6で「1 社会学部(仮称)を受験したい」と回答した672人に対して、入学意志を質問した。第一志望ではないことを示す「2 併願大学の結果によっては入学したい」が425人(63.2%)となり、明確な入学意志を示す「1 入学したい」は246人(36.6%)に留まった。

**問7-2** 問7で2を選択された方は併願先をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	他大学の社会学部	166	39.1%
2	他大学の社会学部 <u>以外</u> の学部	148	34.8%
3	<u>大谷大学文学部</u>	18	4.2%
4	その他	18	4.2%

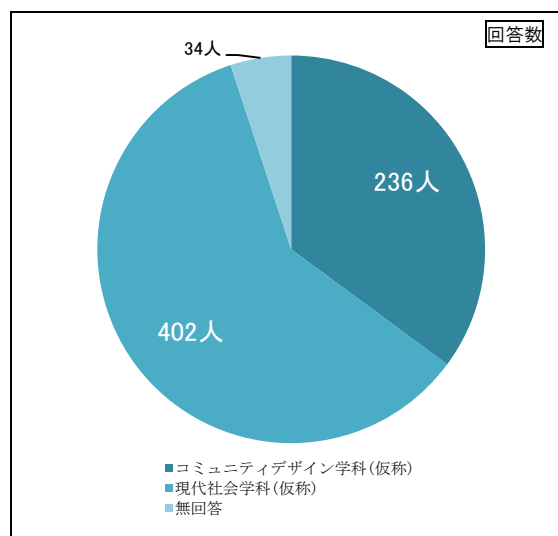


回答者数=425

上記問7-2において、問7で社会学部(仮称)に「2 併願大学の結果によっては入学したい」と回答した425人に対して、併願先と考えている大学・学部を質問した(複数回答可)。166人(39.1%)が「1 他大学の社会学部」を、148人(34.8%)が「2 他大学の社会学部以外の学部」を回答し、拮抗した結果となった。なお、「3 大谷大学文学部」についても、多くはないものの18人(4.2%)の回答があった。

**問8** 社会学部(仮称)で「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」と思っている学科をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢	回答数	構成比
1 <u>コミュニティデザイン学科(仮称)</u>	236	35.1%
2 <u>現代社会学科(仮称)</u>	402	59.8%
無回答	34	5.1%
計	672	100.0%



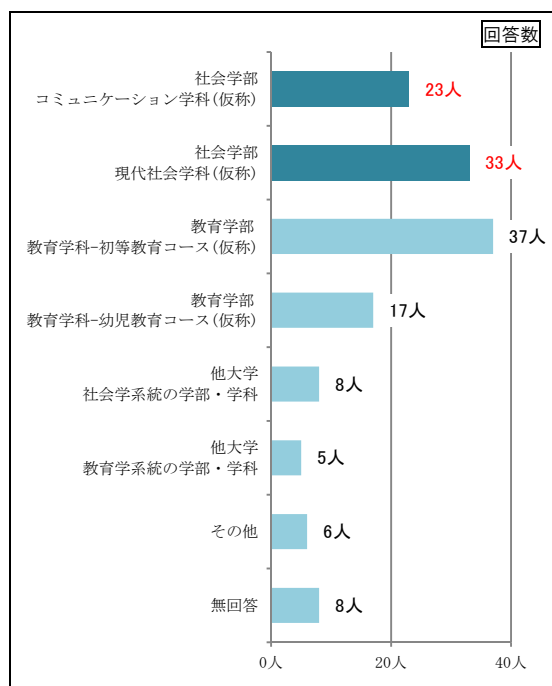
上記問8において、問6で「1 社会学部(仮称)を受験したい」と回答した672人に対して、志望する学科を質問した。「2 現代社会学科(仮称)」が402人(59.8%)、「1 コミュニティデザイン学科(仮称)」が236人(35.1%)の結果となり、現代社会学科(仮称)がコミュニティデザイン学科(仮称)より166(402-236)人多く、24.7(59.8-35.1)ポイント高かった。

問9・問10は問6で「2. 教育学部(仮称)を受験したい」を選択された779人が回答対象のため、本報告書では記載を省略する。

問11は問6で「3. 社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

**問11** 受験し合格した場合、入学したいと思う学部・学科をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

	選択肢	回答数	構成比
1	社会学部 コミュニティデザイン学科(仮称)	23	16.8%
2	社会学部 現代社会学科(仮称)	33	24.1%
3	教育学部 教育学科-初等教育コース(仮称)	37	27.0%
4	教育学部 教育学科-幼児教育コース(仮称)	17	12.4%
5	他大学社会学系統の学部・学科	8	5.8%
6	他大学教育学系統の学部・学科	5	3.6%
7	その他	6	4.4%
	無回答	8	5.8%
	計	137	100.0%

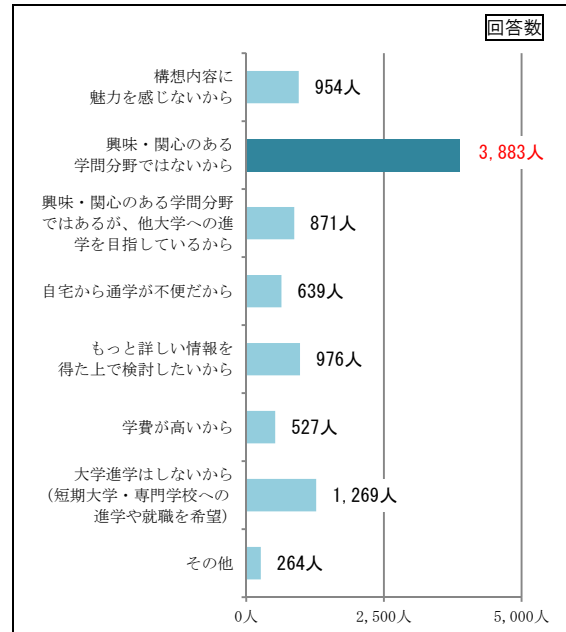


上記問11において、問6で「3 社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい」と回答した137人に対して、入学意志を質問した。社会学部(仮称)については、「1 社会学部 コミュニティデザイン学科(仮称)」が23人(16.8%)、「2 社会学部 現代社会学科(仮称)」が33人(24.1%)となった。回答数では、現代社会学科(仮称)がコミュニティデザイン学科(仮称)より10人多かった。

以下の問12・問13は、問6で「4. 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」を選択された方がお答えください。

**問12** 「社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」と回答された理由をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○印)

選択肢	回答数	回答率
1 構想内容に魅力を感じないから	954	13.3%
2 <u>興味・関心のある学問分野ではないから</u>	<u>3,883</u>	<u>54.3%</u>
3 興味・関心のある学問分野であるが、他大学への進学を目指しているから	871	12.2%
4 自宅から通学が不便だから	639	8.9%
5 もっと詳しい情報を得た上で検討したいから	976	13.7%
6 学費が高いから	527	7.4%
7 大学進学はしないから(短期大学・専門学校への進学や就職を希望)	1,269	17.8%
8 その他	264	3.7%

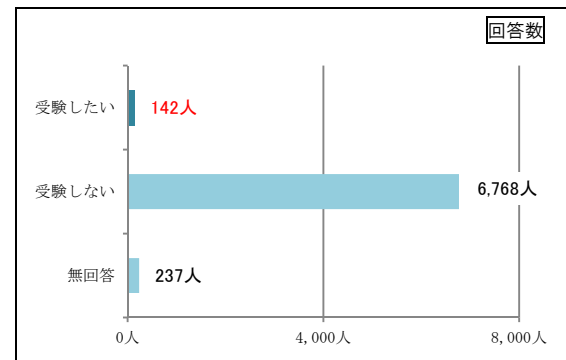


回答者数=7,147

上記問12では問6で「4 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」と回答した7,147人に対して、その理由を質問した(複数回答可)。最も多かったのは、「2 興味・関心のある学問分野ではないから」の3,883人(54.3%)で、唯一50%以上となった。以下、「7 大学進学はしないから(短期大学・専門学校への進学や就職を希望)」が1,269人(17.8%)、「5 もっと詳しい情報を得た上で検討したいから」が976人(13.7%)、「1 構想内容に魅力を感じないから」が954人(13.3%)、「3 興味・関心のある学問分野であるが、他大学への進学を目指しているから」が871人(12.2%)の順に多かった。他の選択肢については10%未満の回答率となった。

**問13** あなたは現時点で大谷大学文学部を受験したいと思っていますか。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢	回答数	構成比
1 <u>受験したい</u>	<u>142</u>	<u>2.0%</u>
2 受験しない	6,768	94.7%
無回答	237	3.3%
計	7,147	100.0%



上記問13では問6で「4 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」と回答した7,147人に対して、大谷大学文学部の受験意志を質問した。「2 受験しない」が6,768人(94.7%)と圧倒的に多く、「1 受験したい」は142人(2.0%)に留まった。



## 5. 「設置構想についての高校生アンケート調査」まとめ

本調査の回答結果により、社会学部コミュニティデザイン学科(仮称)[入学定員=100人]、社会学部現代社会学科(仮称)[入学定員=120人]について、学生確保の見通しを考察する。

本調査は、アンケート調査協力の依頼に対し承諾のあった高等学校78校において調査を実施し、高等学校第2学年に在籍する8,862人より回答を得た。

本調査の問6において、社会学部(仮称)と教育学部(仮称)に対する受験意志を質問し、選択肢別に受験意志を集計した。(問6の回答結果[再掲]参照)

問6の回答結果 [再掲]

	選択肢	回答数	構成比
1	<u>社会学部(仮称)を受験したい</u>	672	7.6%
2	教育学部(仮称)を受験したい	779	8.8%
3	<u>社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい</u>	137	1.5%
4	社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない	7,147	80.6%
	無回答	127	1.4%
	計	8,862	100.0%

最初に、問6において「社会学部(仮称)を受験したい」と回答した672人について、問7(学部に対する入学意志)の回答(問7の回答結果[再掲]参照)と問8(志望学科)の回答(問8の回答結果[再掲]参照)をクロス集計することにより、各学科に対する入学意志の集計を行った。(次頁表1参照)

問7の回答結果 [再掲]

	選択肢	回答数	構成比
1	入学したい	246	36.6%
2	併願大学の結果によっては入学したい	425	63.2%
	無回答	1	0.1%
	計	672	100.0%

問8の回答結果 [再掲]

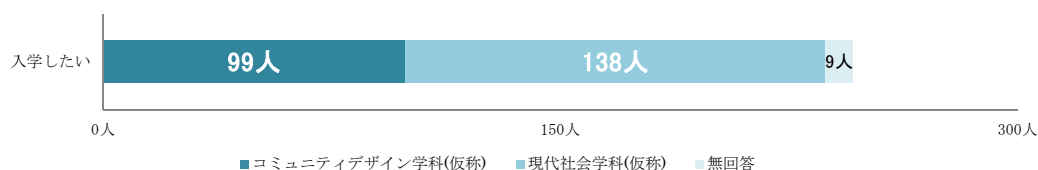
	選択肢	回答数	構成比
1	コミュニティデザイン学科(仮称)	236	35.1%
2	現代社会学科(仮称)	402	59.8%
	無回答	34	5.1%
	計	672	100.0%

表1 問7(学部に対する入学意志)と問8(志望学科)のクロス集計

選択項目	総計		コミュニティデザイン学科(仮称)		現代社会学科(仮称)		無回答	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
入学したい	246	36.6%	<b>99</b>	41.9%	<b>138</b>	34.3%	9	26.5%
併願大学の結果によっては入学したい	425	63.2%	137	58.1%	264	65.7%	24	70.6%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%
計	672	100.0%	236	100.0%	402	100.0%	34	100.0%

上記クロス集計により、問6で「社会学部(仮称)を受験したい」と回答し、問7で社会学部(仮称)に「入学したい」と回答した246人については、コミュニティデザイン学科(仮称)に**99人**(①)が、現代社会学科(仮称)に**138人**(②)が、明確な入学意志を示す「入学したい」と回答したことが判明した(「無回答」が9人)。(図1参照)

図1 問7で社会学部(仮称)に「入学したい」と回答した246人の学科別志望



また、問6において「社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい」と回答した137人については、問11で受験し合格した場合、入学したいと思う学部・学科を質問し、社会学部コミュニティデザイン学科(仮称)に**23人**(③)が、社会学部現代社会学科(仮称)に**33人**(④)が、明確な入学意志を有していることが判明している。(問11の回答結果[再掲]参照)

問11の回答結果 [再掲]

選択肢	回答数	構成比
1 <u>社会学部 コミュニティデザイン学科(仮称)</u>	<b>23</b>	16.8%
2 <u>社会学部 現代社会学科(仮称)</u>	<b>33</b>	24.1%
3 教育学部 教育学科-初等教育コース(仮称)	37	27.0%
4 教育学部 教育学科-幼児教育コース(仮称)	17	12.4%
無回答	8	5.8%
計	137	100.0%

上記を整理すると、入学意志を示した人数は次頁のとおりとなる。

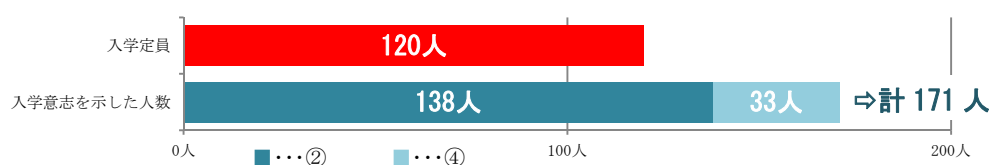
○社会学部コミュニティデザイン学科(仮称)は99人(①)と23人(③)を合わせた122人となり、入学定員(100人)を22人上回る。(図2参照)

図2 入学定員と入学意志を示した人数－社会学部コミュニティデザイン学科(仮称)



○社会学部現代社会学科(仮称)は138人(②)と33人(④)を合わせた171人となり、入学定員(120人)を51人上回る。(図3参照)

図3 入学定員と入学意志を示した人数－社会学部現代社会学科(仮称)



以上により、社会学部コミュニティデザイン学科(仮称)、社会学部現代社会学科(仮称)については、その入学定員を確保することが十分可能であることが示された。

## 2章

### 人材需要の見通し調査

～社会学部(仮称)～

【設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査】

結 果

## 1. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」概要

- ◆調査の目的：本調査は、大谷大学が平成30年4月に設置を予定する社会学部（仮称）の卒業予定者の就職における社会的なニーズを、大学外の第三者機関により、企業・公的機関・団体へのアンケートを用いて計ることを目的とする。
- ◆調査期間：平成28年11月～平成28年12月
- ◆調査方法：対象とする企業・公的機関・団体の人事・採用担当者宛に、社会学部（仮称）の卒業予定者に対する採用意向等を尋ねるアンケート用紙(匿名)を送付することにより実施した。
- ◆調査内容：選択肢式及び記述回答式の9問の設問  
(主な質問項目)
  - ★回答いただく企業・公的機関・団体の基本情報について
  - ★社会学部（仮称）の卒業予定者の採用意向について
- ◆調査対象：大谷大学の求人依頼実績を踏まえ、近畿圏を中心に1,657件の企業・公的（依頼先）機関・団体を選定し調査対象とした。  
(内訳)
  - ★一般企業=1,170件
  - ★公的機関・団体等=487件
- ◆有効回収件数：379件（依頼件数=1,657件／回収率=22.9%）
- ◆調査実施主体：株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所

## 2. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」 集計結果

問1 業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	建設業	10	2.6%
2	製造業	52	13.7%
3	情報通信業	14	3.7%
4	運輸業	12	3.2%
5	卸売・小売業	114	30.1%
6	金融・保険業	7	1.8%
7	不動産業	14	3.7%
8	飲食サービス・宿泊業	13	3.4%
9	医療・福祉	97	25.6%
10	教育・学習支援業	1	0.3%
11	その他サービス業	18	4.7%
12	電気・ガス業・水道業	0	0.0%
13	水産・農林・鉱業	0	0.0%
14	公的機関・団体	15	4.0%
15	その他	12	3.2%
	計	379	100.0%

問2 所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。(あてはまる番号を記入)

選択肢		回答数	構成比
13	東京都	5	1.3%
14	神奈川県	1	0.3%
16	富山県	1	0.3%
22	静岡県	1	0.3%
23	愛知県	4	1.1%
25	滋賀県	66	17.4%
26	京都府	137	36.1%
27	大阪府	112	29.6%
28	兵庫県	22	5.8%
29	奈良県	26	6.9%
30	和歌山県	1	0.3%
34	広島県	2	0.5%
	無回答	1	0.3%
	計	379	100.0%

回答のあった選択肢のみ記載。

**問3** 従業員規模をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢		回答数	構成比
1	100人未満	127	33.5%
2	100人以上	155	40.9%
3	500人以上	41	10.8%
4	1000人以上	43	11.3%
5	5000人以上	12	3.2%
	無回答	1	0.3%
	計	379	100.0%

**問4** 新卒生を採用する際に、求める能力等をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢		回答数	回答率
1	コミュニケーション能力	350	92.3%
2	基礎的な学力	195	51.5%
3	専攻学問の専門的な知識	42	11.1%
4	語学力	18	4.7%
5	考え抜く力	166	43.8%
6	前に踏み出す力	217	57.3%
7	目的達成志向	189	49.9%
8	適応力	273	72.0%
9	インターンシップ経験	6	1.6%
10	ボランティア経験	21	5.5%
11	忍耐力	217	57.3%
12	理解力	196	51.7%
13	論理力	67	17.7%
14	取得資格・免許(見込含む)	93	24.5%

回答者数=379

問5 大谷大学が設置構想中の社会学部（仮称）が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。（学科ごとに、あてはまるもの1つに○印）

A. コミュニティデザイン学科(仮称)

選択肢		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	84	22.2%
2	ニーズはある程度高い	188	49.6%
3	どちらとも言えない	96	25.3%
4	ニーズは高くない	7	1.8%
	無回答	4	1.1%
	計	379	100.0%

B. 現代社会学科(仮称)

選択肢		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	60	15.8%
2	ニーズはある程度高い	195	51.5%
3	どちらとも言えない	113	29.8%
4	ニーズは高くない	7	1.8%
	無回答	4	1.1%
	計	379	100.0%

問6 大谷大学が設置構想中の社会学部（仮称）が養成する人材を将来採用したいと思われませんか。（あてはまるもの1つに○印）

選択肢		回答数	構成比
1	採用したいと思う	124	32.7%
2	採用を検討したいと思う	123	32.5%
3	どちらとも言えない	122	32.2%
4	採用したいと思わない	7	1.8%
	無回答	3	0.8%
	計	379	100.0%



問7 「問6」で「1.採用したいと思う」または「2.採用を検討したいと思う」とお答えいただいた場合、ご回答ください。現時点で、採用可能と思われる人数は何人ですか。  
(学科ごとに、人数を記入)

学 科	人 数		回答数	構成比
	1	2		
A. コミュニティデザイン 学科(仮称)	1	1人	96	38.9%
	2	2人	49	19.8%
	3	3人	16	6.5%
	4	4人	4	1.6%
	5	5人	14	5.7%
	6	10人	7	2.8%
	7	20人	1	0.4%
	8	1～2人	4	1.6%
	9	10～20人	1	0.4%
	10	未定	12	4.9%
	11	数人	1	0.4%
	12	若干	1	0.4%
	13	不明	3	1.2%
	14	0人	8	3.2%
		無回答	30	12.1%
	計	247	100.0%	
B. 現代社会学科(仮称)	1	1人	96	38.9%
	2	2人	46	18.6%
	3	3人	14	5.7%
	4	4人	3	1.2%
	5	5人	13	5.3%
	6	10人	6	2.4%
	7	20人	1	0.4%
	8	1～2人	5	2.0%
	9	10～20人	1	0.4%
	10	未定	12	4.9%
	11	数人	1	0.4%
	12	若干	2	0.8%
	13	不明	3	1.2%
	14	0人	13	5.3%
		無回答	31	12.6%
	計	247	100.0%	

注. 2学科に「0人」と記入された回答が無いことを確認している。

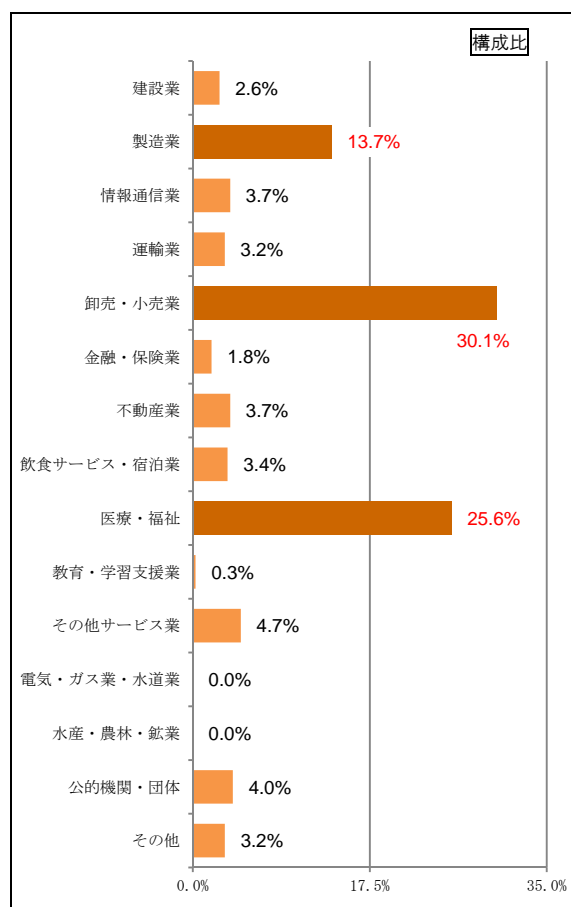
問8 過去に大谷大学の卒業生を採用された実績についてお答えください。  
(あてはまるもの1つに○印)

	選択肢	回答数	構成比
1	過去に採用実績がある	233	61.5%
2	過去に採用実績はない	103	27.2%
3	分からない	41	10.8%
	無回答	2	0.5%
	計	379	100.0%

### 3. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」調査結果の分析

問1 業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

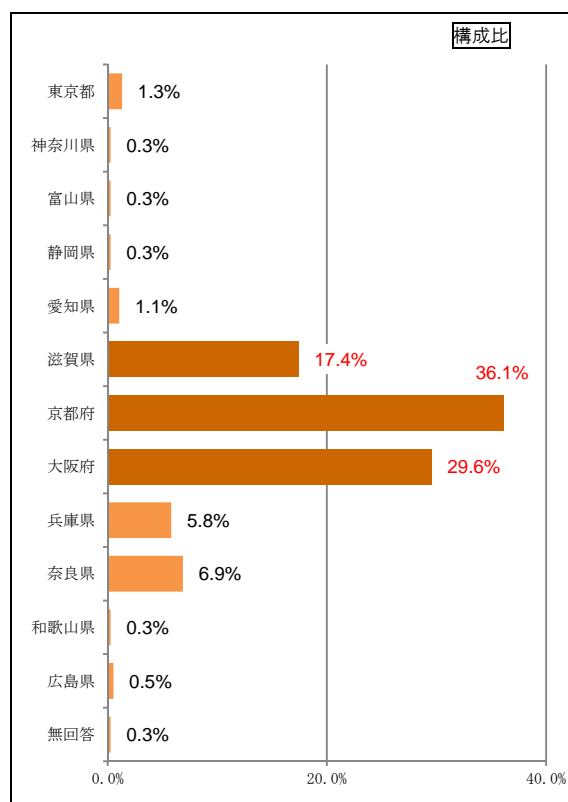
	選択肢	回答数	構成比
1	建設業	10	2.6%
2	製造業	52	13.7%
3	情報通信業	14	3.7%
4	運輸業	12	3.2%
5	卸売・小売業	114	30.1%
6	金融・保険業	7	1.8%
7	不動産業	14	3.7%
8	飲食サービス・宿泊業	13	3.4%
9	医療・福祉	97	25.6%
10	教育・学習支援業	1	0.3%
11	その他サービス業	18	4.7%
12	電気・ガス業・水道業	0	0.0%
13	水産・農林・鉱業	0	0.0%
14	公的機関・団体	15	4.0%
15	その他	12	3.2%
	計	379	100.0%



【業種】問1において、回答のあった企業・公的機関・団体の業種を質問した。回答のあった企業・公的機関・団体のうち、30.1%(114件)が「5 卸売・小売業」、25.6%(97件)が「9 医療・福祉」、13.7%(52件)が「2 製造業」となった。合わせると69.4%(263件)となり、上位の3業種で全業種の約70%を占めた。上記以外の業種の回答数は20件未満に留まった。

## 問2 所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。(あてはまる番号を記入)

選択肢	回答数	構成比
13 東京都	5	1.3%
14 神奈川県	1	0.3%
16 富山県	1	0.3%
22 静岡県	1	0.3%
23 愛知県	4	1.1%
25 <u>滋賀県</u>	<u>66</u>	<u>17.4%</u>
26 <u>京都府</u>	<u>137</u>	<u>36.1%</u>
27 <u>大阪府</u>	<u>112</u>	<u>29.6%</u>
28 兵庫県	22	5.8%
29 奈良県	26	6.9%
30 和歌山県	1	0.3%
34 広島県	2	0.5%
無回答	1	0.3%
計	379	100.0%

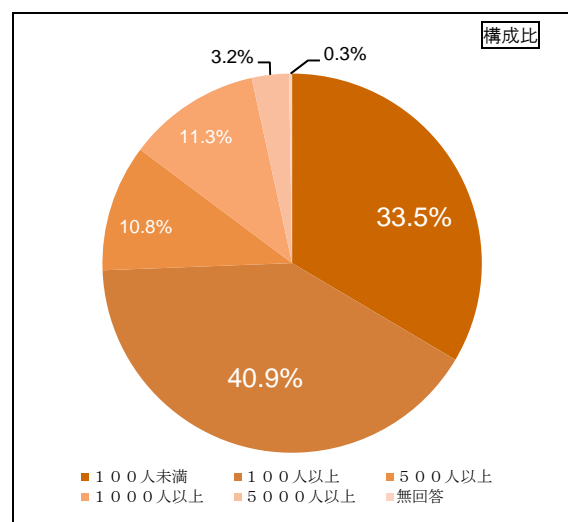


回答のあった選択肢のみ記載。

【所在地】問2において、回答のあった企業・公的機関・団体の所在地を質問した。回答のあった企業・公的機関・団体のうち、「26 京都府」が36.1%(137件)、「27 大阪府」が29.6%(112件)、「25 滋賀県」が17.4%(66件)となった。合わせると83.1%(315件)となり、大学の所在地である京都府および隣接する大阪府と滋賀県の2府・1県で80%以上を占めた。

## 問3 従業員規模をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

選択肢	回答数	構成比
1 <u>100人未満</u>	<u>127</u>	<u>33.5%</u>
2 <u>100人以上</u>	<u>155</u>	<u>40.9%</u>
3 500人以上	41	10.8%
4 1000人以上	43	11.3%
5 5000人以上	12	3.2%
無回答	1	0.3%
計	379	100.0%

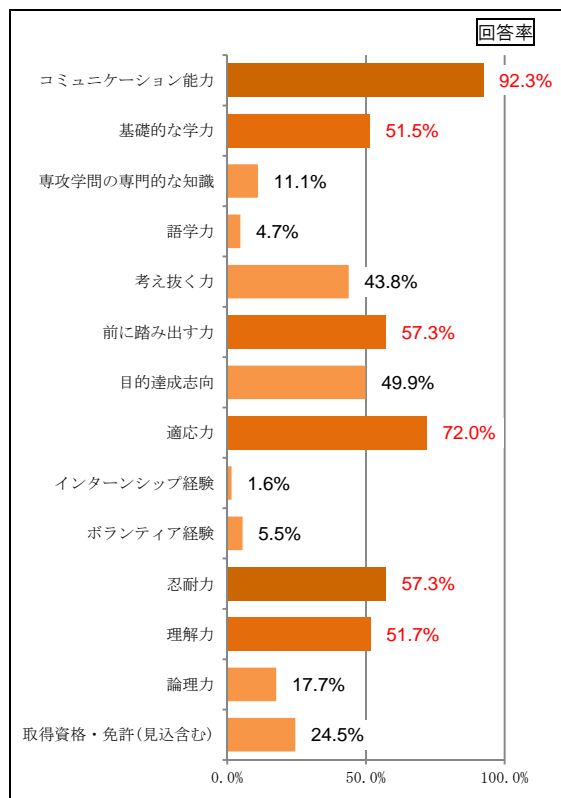


【従業員規模】問3において、回答のあった企業・公的機関・団体の従業員規模を質問した。回答のあった企業・公的機関・団体のうち、40.9%(155件)が「2 100人以上」、33.5%(127件)が「1 100人未満」で、合わせて74.4%(282件)となった。

## 問4 新卒生を採用する際に、求める能力等をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

選択肢	回答数	回答率
1 <u>コミュニケーション能力</u>	350	92.3%
2 <u>基礎的な学力</u>	195	51.5%
3 専攻学問の専門的な知識	42	11.1%
4 語学力	18	4.7%
5 考え抜く力	166	43.8%
6 <u>前に踏み出す力</u>	217	57.3%
7 目的達成志向	189	49.9%
8 <u>適応力</u>	273	72.0%
9 インターンシップ経験	6	1.6%
10 ボランティア経験	21	5.5%
11 <u>忍耐力</u>	217	57.3%
12 <u>理解力</u>	196	51.7%
13 論理力	67	17.7%
14 取得資格・免許(見込含む)	93	24.5%

回答者数=379

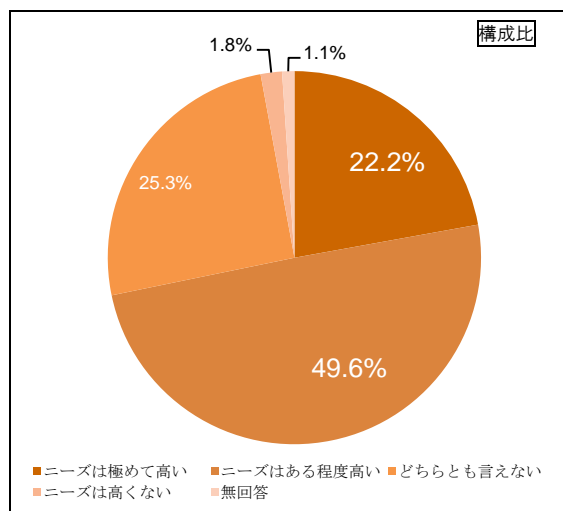


【求める能力等】問4において、回答のあった企業・公的機関・団体が求める能力等を質問した(複数回答可)。回答のあった企業・公的機関・団体の 92.3%(350 件)が「1 コミュニケーション能力」を挙げ、最も多かった。その後に、「8 適応力(72.0%)」、「6 前に踏み出す力(57.3%)」、「11 忍耐力(57.3%)」、「12 理解力(51.7%)」、「2 基礎的な学力(51.5%)」と続き、いずれも50%以上の回答率であった。

問5 大谷大学が設置構想中の社会学部（仮称）が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。（学科ごとに、あてはまるもの1つに○印）

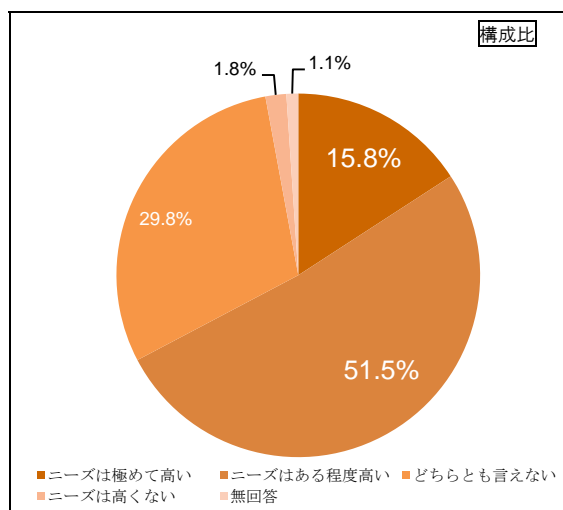
#### A. コミュニティデザイン学科(仮称)

選択肢		回答数	構成比
1	<u>ニーズは極めて高い</u>	84	22.2%
2	<u>ニーズはある程度高い</u>	188	49.6%
3	どちらとも言えない	96	25.3%
4	ニーズは高くない	7	1.8%
	無回答	4	1.1%
	計	379	100.0%



#### B. 現代社会学科(仮称)

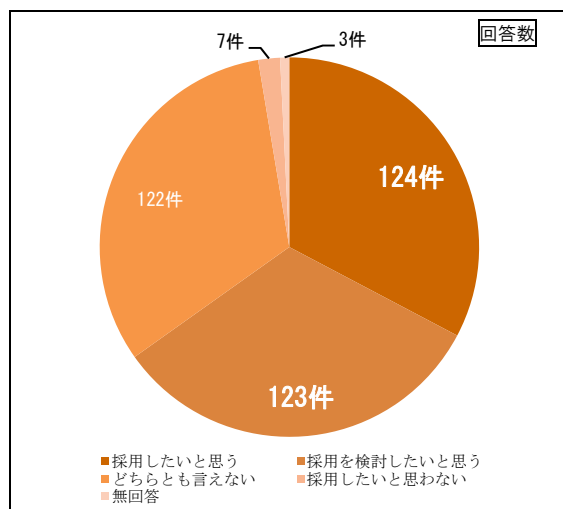
選択肢		回答数	構成比
1	<u>ニーズは極めて高い</u>	60	15.8%
2	<u>ニーズはある程度高い</u>	195	51.5%
3	どちらとも言えない	113	29.8%
4	ニーズは高くない	7	1.8%
	無回答	4	1.1%
	計	379	100.0%



【社会的ニーズ】問5において、回答のあった企業・公的機関・団体における社会学部（仮称）が養成する人材の社会的ニーズの高さを学科ごとに質問した。「1 ニーズは極めて高い」と「2 ニーズはある程度高い」を合わせると、コミュニティデザイン学科(仮称)が71.8%(272件)、現代社会学科(仮称)が67.3%(255件)となった。「1 ニーズは極めて高い」と「2 ニーズはある程度高い」を合わせた数値は、コミュニティデザイン学科(仮称)が現代社会学科(仮称)を4.5(71.8-67.3)ポイント上回った。

問6 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)が養成する人材を将来採用したいと思われませんか。  
(あてはまるもの1つに○印)

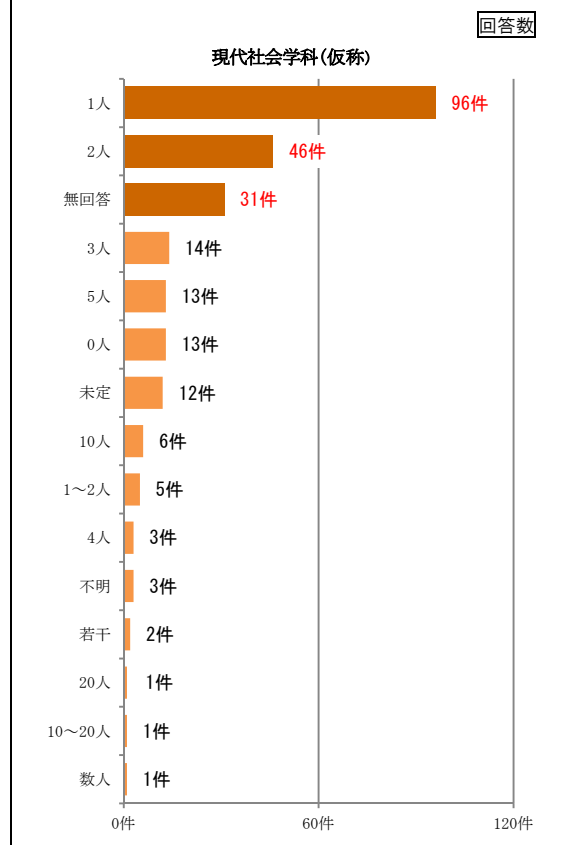
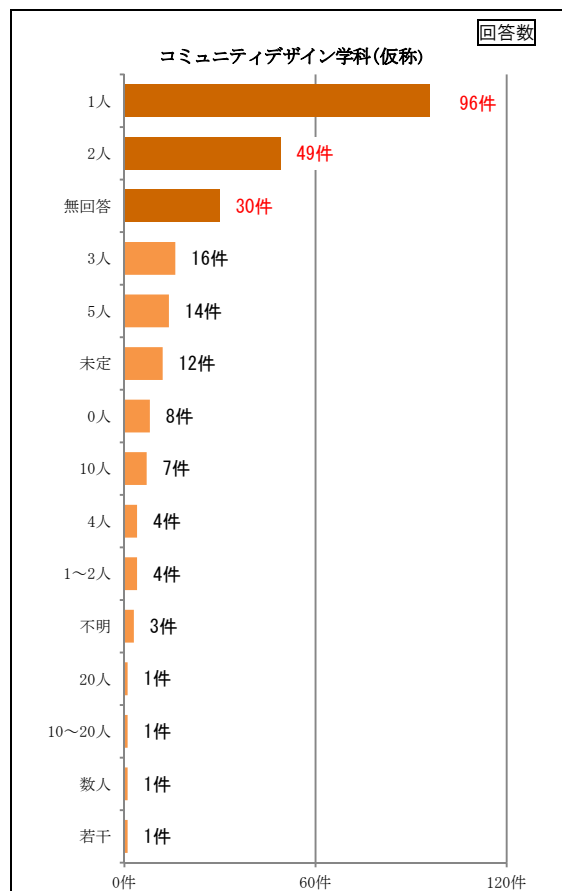
選択肢		回答数	構成比
1	<u>採用したいと思う</u>	124	32.7%
2	<u>採用を検討したいと思う</u>	123	32.5%
3	どちらとも言えない	122	32.2%
4	採用したいと思わない	7	1.8%
	無回答	3	0.8%
	計	379	100.0%



【採用意向】問6において、回答のあった企業・公的機関・団体における社会学部(仮称)が養成する人材の採用意向を質問した。最も多かった「1 採用したい」の124件(32.7%)と次いで多かった「2 採用を検討したいと思う」の123件(32.5%)を合わせると247件(65.2%)となった。

問7 「問6」で「1.採用したいと思う」または「2.採用を検討したいと思う」とお答えいただいた場合、ご回答ください。現時点で、採用可能と思われる人数は何人ですか。  
(学科ごとに、人数を記入)

学 科	人 数		回答数	構成比
A. コミュニティデザイン学科 (仮称)	1	1人	96	38.9%
	2	2人	49	19.8%
	3	3人	16	6.5%
	4	4人	4	1.6%
	5	5人	14	5.7%
	6	10人	7	2.8%
	7	20人	1	0.4%
	8	1～2人	4	1.6%
	9	10～20人	1	0.4%
	10	未定	12	4.9%
	11	数人	1	0.4%
	12	若干	1	0.4%
	13	不明	3	1.2%
	14	0人	8	3.2%
		無回答	30	12.1%
		計	247	100.0%
B. 現代社会学部 (仮称)	1	1人	96	38.9%
	2	2人	46	18.6%
	3	3人	14	5.7%
	4	4人	3	1.2%
	5	5人	13	5.3%
	6	10人	6	2.4%
	7	20人	1	0.4%
	8	1～2人	5	2.0%
	9	10～20人	1	0.4%
	10	未定	12	4.9%
	11	数人	1	0.4%
	12	若干	2	0.8%
	13	不明	3	1.2%
	14	0人	13	5.3%
		無回答	31	12.6%
		計	247	100.0%



注. 2学科に「0人」と記入された回答が無いことを確認している。

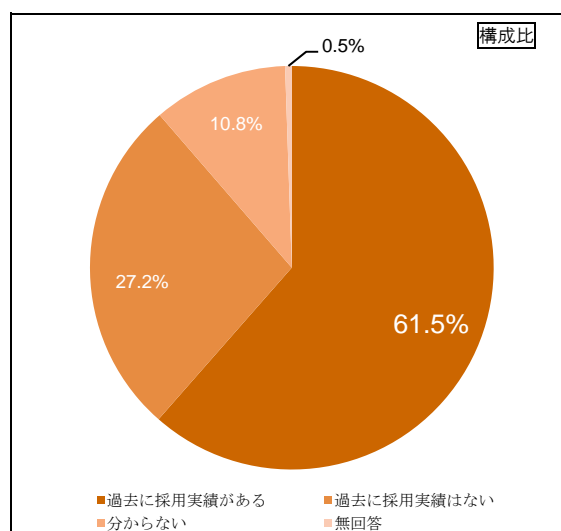


【採用可能な人数】問7において、問6で「1.採用したいと思う」または「2.採用を検討したいと思う」と回答した企業・公的機関・団体(247件)に対して、現時点で採用可能と思われる人数を質問した。コミュニティデザイン学科(仮称)では「1人」の回答が96件(38.9%)と最も多く、その他では「2人」の49件(19.8%)、無回答の30件(12.1%)が10%以上となった。

現代社会学部(仮称)においても、「1人」の回答が96件(38.9%)と最も多く、その他では「2人」の46件(18.6%)、無回答の31件(12.6%)が10%以上となった。

問8 過去に大谷大学の卒業生を採用された実績についてお答えください。  
(あてはまるもの1つに○印)

選択肢	回答数	構成比
1 <u>過去に採用実績がある</u>	<u>233</u>	<u>61.5%</u>
2 過去に採用実績はない	103	27.2%
3 分からない	41	10.8%
無回答	2	0.5%
計	379	100.0%



【採用実績】問8において、回答のあった企業・公的機関・団体における大谷大学卒業生の採用実績を質問した。「1 過去に採用実績がある」が61.5%(233件)と最も多かったものの、「2 過去に採用実績はない」も27.2%(103件)を占めた。

報告書 第2章 4.「設置構想についての  
企業・公的機関・団体向けアンケート調査」  
記述式設問に対する自由回答は記載を省略  
する。

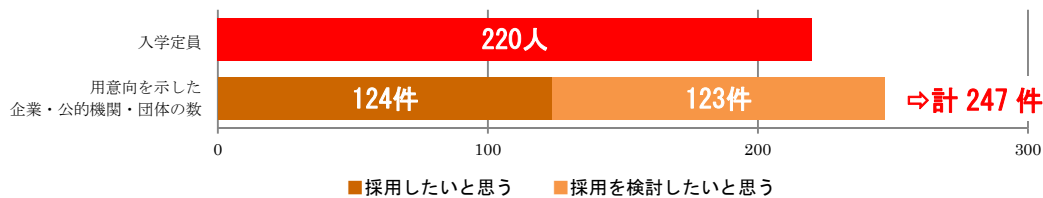
## 5. 「設置構想についての企業・公的機関・団体向けアンケート調査」まとめ

本調査の回答結果により、社会学部(仮称)の卒業予定者の就職における社会的なニーズを考察する。

本調査は、対象とする企業・公的機関・団体の人事・採用担当者宛に、社会学部(仮称)の卒業予定者に対する採用意向等を尋ねるアンケート用紙(匿名)を送付することにより実施し、379件の企業・公的機関・団体より回答を得た。

本調査の間6において、「1 採用したいと思う」の124件と「2 採用を検討したいと思う」の123件を合わせると、247件となった。コミュニティデザイン学科(仮称)の入学定員(100人)と現代社会学科(仮称)の入学定員(120人)を合わせた220人が社会学部(仮称)が予定する入学定員であり、採用意向を示した企業・公的機関・団体(247件)は社会学部(仮称)の入学定員(220人)を超えている。(図1参照)

図1 社会学部(仮称)の卒業予定者に対して採用意向を示した企業・公的機関・団体の数



また、本調査の間7において、間6で「1 採用したいと思う」「2 採用を検討したいと思う」と回答した企業・公的機関・団体(247件)に対して、現時点で採用可能と思われる人数を質問した。

企業・公的機関・団体の各学科に対する採用意向は、間7の回答結果(次頁再掲)において、具体的な人数記載だけでなく「未定」、「数人」、「若干」、「不明」、「無回答」も採用意向と考えられることから、社会学部(仮称)の卒業予定者に採用意向を示した企業・公的機関・団体(247件)から各学科で「0人」と回答した件数(数値は次頁表参照)を減じることで算出できる。つまり、社会学部(仮称)の卒業予定者に採用意向を示した企業・公的機関・団体(247件)のうち、コミュニティデザイン学科(仮称)の卒業予定者に対する採用意向が239件(247件-8件)、現代社会学科(仮称)の卒業予定者に対する採用意向が234件(247件-13件)となった。

上記により、学科単位でも採用意向を示した企業・公的機関・団体数だけで入学定員を超えている。(図2・図3参照)

図2 コミュニティデザイン学科(仮称)の卒業予定者に対して採用意向を示した企業・公的機関・団体の数

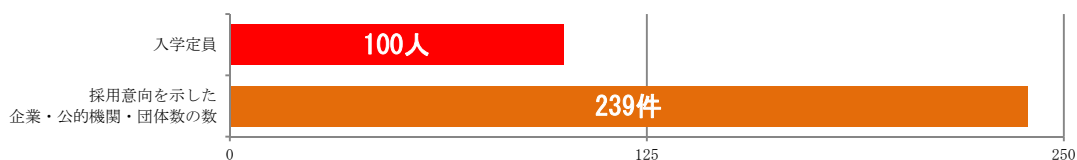
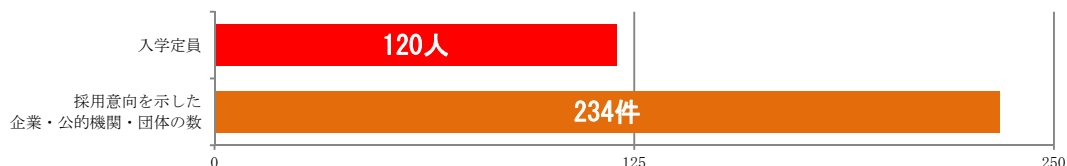


図3 現代社会学科(仮称)の卒業予定者に対して採用意向を示した企業・公的機関・団体の数



## 問7における回答結果(表のみ抜粋)[再掲]

A. コミュニティデザイン学科(仮称)

人数		回答数	構成比
1	1人	96	38.9%
2	2人	49	19.8%
3	3人	16	6.5%
4	4人	4	1.6%
5	5人	14	5.7%
6	10人	7	2.8%
7	20人	1	0.4%
8	1～2人	4	1.6%
9	10～20人	1	0.4%
10	未定	12	4.9%
11	数人	1	0.4%
12	若干	1	0.4%
13	不明	3	1.2%
14	0人	8	3.2%
	無回答	30	12.1%
	計	247	100.0%

B. 現代社会学科(仮称)

人数		回答数	構成比
1	1人	96	38.9%
2	2人	46	18.6%
3	3人	14	5.7%
4	4人	3	1.2%
5	5人	13	5.3%
6	10人	6	2.4%
7	20人	1	0.4%
8	1～2人	5	2.0%
9	10～20人	1	0.4%
10	未定	12	4.9%
11	数人	1	0.4%
12	若干	2	0.8%
13	不明	3	1.2%
14	0人	13	5.3%
	無回答	31	12.6%
	計	247	100.0%

注. 2学科に「0人」と記入された回答が無いことを確認している。

さらに、問7の回答結果(上表参照)を基に学科別に具体的な採用可能人数を算出した。その際、「1～2人」の回答を「1人」、「10～20人」の回答を「10人」とした。また、「未定」、「数人」、「若干」、「不明」、「無回答」は最低でも「1人」が見込まれるものの集計外とし、明確な記載のあった数値のみで算出した。各学科の具体的な採用人数についての詳細結果は次頁に記載しているが、数値を合計したところ、コミュニティデザイン学科(仮称)の卒業予定者に対する採用可能人数は432人、現代社会学科(仮称)の卒業予定者に対する採用可能人数は402人となった。この数値はコミュニティデザイン学科(仮称)の入学定員(100人)、現代社会学科(仮称)の入学定員(120人)を大幅に上回っている。(図4・図5参照)

図4 コミュニティデザイン学科(仮称)の卒業予定者に対して採用意向を示した企業・公的機関・団体の採用可能人数

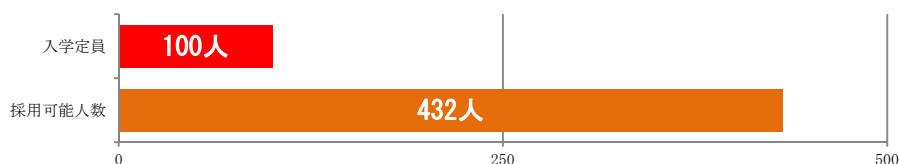
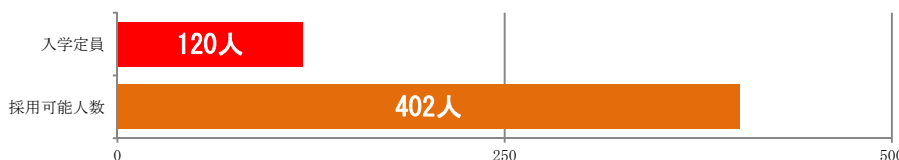


図5 現代社会学科(仮称)の卒業予定者に対して採用意向を示した企業・公的機関・団体の採用可能人数



以上により、コミュニティデザイン学科(仮称)および現代社会学科(仮称)の卒業予定者に対する企業・公的機関・団体からのニーズは高く、卒業後の就職先については十分に確保されていることが明確に示された。

～具体的な採用可能人数の算出結果～

A. コミュニティデザイン学科 (仮称)

1人	→	1人 × 96件	=	96人
2人	→	2人 × 49件	=	98人
3人	→	3人 × 16件	=	48人
4人	→	4人 × 4件	=	16人
5人	→	5人 × 14件	=	70人
10人	→	10人 × 7件	=	70人
20人	→	20人 × 1件	=	20人
1～2人	→	1人 × 4件	=	4人
10～20人	→	10人 × 1件	=	10人
未定	→	集計外		
数人	→	集計外		
若干	→	集計外		
不明	→	集計外		
無回答	→	集計外		

合計 = 432人

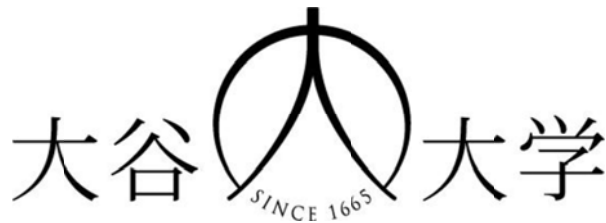
B. 現代社会学科 (仮称)

1人	→	1人 × 96件	=	96人
2人	→	2人 × 46件	=	92人
3人	→	3人 × 14件	=	42人
4人	→	4人 × 3件	=	12人
5人	→	5人 × 13件	=	65人
10人	→	10人 × 6件	=	60人
20人	→	20人 × 1件	=	20人
1～2人	→	1人 × 5件	=	5人
10～20人	→	10人 × 1件	=	10人
未定	→	集計外		
数人	→	集計外		
若干	→	集計外		
不明	→	集計外		
無回答	→	集計外		

合計 = 402人

**【添付①】**

「社会学部・教育学部 設置構想についての  
高校生アンケート調査」



**社会学部**

**コミュニティデザイン学科 (仮称)**  
**現代社会学科 (仮称)**

**教育学部**

**教育学科 (仮称)**

2018年4月開設に向け  
～設置構想中～

※学部学科名称は仮称のため、変更する場合があります。

## 設置構想についての高校生アンケート調査

(対象：2016年度現在、高校2年生のみなさん)

2018年4月、大谷大学(京都府京都市北区小山上総町)は文学部の社会学科(定員120人)と教育・心理学科(定員100人)を改組し、社会学部コミュニティデザイン学科(仮称・定員100人)、社会学部現代社会学科(仮称・定員120人)および教育学部教育学科(定員130人)の設置を構想しています。

このアンケート調査(無記名方式)を通して、2018年に大学進学を迎える現在高校2年生のみなさんの進路についての率直なお考えをお聞きし、構想内容に少しでも反映させたいと考えています。

ご回答いただいたみなさんから寄せられた情報は、大谷大学の新設学科構想に係る統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することは一切ありません。ご協力の程、よろしくお願ひします。

※このアンケート調査は、大谷大学から委託された第三者機関(株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

**問1 【性別】** 性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

1. 男性      2. 女性

**問2 【居住地】** 居住地(寮生等の場合は出身地)をお答えください。(あてはまる番号を記入)

番号記入欄

- |          |         |         |         |         |         |          |          |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 【北海道・東北】 | 1. 北海道  | 2. 青森県  | 3. 岩手県  | 4. 宮城県  | 5. 秋田県  | 6. 山形県   | 7. 福島県   |
| 【関東】     | 8. 茨城県  | 9. 栃木県  | 10. 群馬県 | 11. 埼玉県 | 12. 千葉県 | 13. 東京都  | 14. 神奈川県 |
| 【北陸・甲信越】 | 15. 新潟県 | 16. 富山県 | 17. 石川県 | 18. 福井県 | 19. 山梨県 | 20. 長野県  |          |
| 【東海】     | 21. 岐阜県 | 22. 静岡県 | 23. 愛知県 | 24. 三重県 |         |          |          |
| 【近畿】     | 25. 滋賀県 | 26. 京都府 | 27. 大阪府 | 28. 兵庫県 | 29. 奈良県 | 30. 和歌山県 |          |
| 【中国】     | 31. 鳥取県 | 32. 島根県 | 33. 岡山県 | 34. 広島県 | 35. 山口県 |          |          |
| 【四国】     | 36. 徳島県 | 37. 香川県 | 38. 愛媛県 | 39. 高知県 |         |          |          |
| 【九州・沖縄】  | 40. 福岡県 | 41. 佐賀県 | 42. 長崎県 | 43. 熊本県 | 44. 大分県 | 45. 宮崎県  | 46. 鹿児島県 |
|          | 47. 沖縄県 |         |         |         |         |          |          |

**問3 【卒業後の進路】** 高校卒業後の希望進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 大学                      2. 短期大学                      3. 専門学校                      4. 就職  
5. その他(                      )

**問4 【志望分野】** 興味・関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 文学・歴史・心理      2. 経済・経営・商学      3. 法学・政治      4. 社会・社会福祉・観光  
5. 外国語・国際関係      6. 教育・保育      7. 理学・工学・情報      8. 農・畜産・水産  
9. 医学・歯学・薬学      10. 看護・医療技術      11. 栄養・家政      12. スポーツ・健康科学  
13. 芸術      14. その他(                      )

**問5 【希望進路】** 将来、希望する進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 一般企業                      2. 公務員・団体職員                      3. 教員                      4. 資格をいかす職業  
5. 研究・技術職                      6. 起業・会社経営                      7. 医療・福祉施設                      8. その他(                      )

以下は3・4ページの「社会学部(仮称)」および「教育学部(仮称)」の概要をご覧のうえでお答えください。

**問6** 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)または教育学部(仮称)を受験したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

1. 社会学部(仮称)を受験したい → **問7**、**問8**にお答えください。
2. 教育学部(仮称)を受験したい → **問9**、**問10**にお答えください。
3. 社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい → **問11**にお答えください。
4. 社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない → **問12**、**問13**にお答えください。

問7・問8は問6で「1.社会学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

**問7** 社会学部(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

1. 入学したい
2. 併願大学の結果によっては入学したい

**問7-2** 問7で2を選択された方は併願先をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○印)

1. 他大学の社会学部
2. 他大学の社会学部**以外**の学部
3. 大谷大学文学部
4. その他 ( )

**問8** 社会学部(仮称)で「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」と思っている学科をお答えください。  
(あてはまるもの1つに○印)

1. コミュニティデザイン学科(仮称)
2. 現代社会学科(仮称)



以下は大谷大学が2018年に設置構想中の「社会学部(仮称)の概要」です。

## 大谷大学 社会学部 (仮称) 設置構想中

社会と、地域と、つながる人物を育成します。

### 学部学科の概要

開設時期 2018年4月(予定)  
 開設場所 京都府京都市北区小山上総町  
 設置学科 **コミュニティデザイン学科**(入学定員100人) **現代社会学科**(入学定員120人)  
 修業年限 4年  
 取得学位 学士(社会学)  
 養成する人材 **コミュニティデザイン学科** 演習と実習を連動させたプロジェクト型学習に取り組み、人と人をつなぎ、活力のある地域(コミュニティ)を創造(デザイン)していくことができる人物を養成します。  
**現代社会学科** 社会学的考察力、調査分析力等を養い、社会現象を的確に捉え、社会と人の関係や問題と向き合うことができる人物を養成します。

### 学部学科の特色

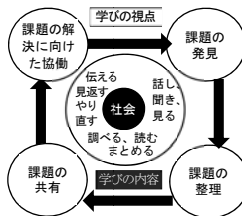
#### ～学びの特色～



社会や地域とつながる学びの活動拠点「コミュ・ラボ(地域連携室)」。大学を飛び出して、地域や各機関の皆さんとともに考え、アクションを起こしていく活動=「プロジェクト」を展開していきます。

- \* 京都・祇園祭ゴミゼロ大作戦への参加
- \* 中川区の暮らし再発見プロジェクト
- \* 京都府北部福祉フィールドワーク

#### ～学びのサイクル～



テーマについて、「話し、聞き、見る」「調べる、読む、まとめる」「伝える、見返す、やり直す」のプロセスを経験します。そのなかで、課題の「発見」「整理」「共有」「解決に向けた協働」のサイクルを実践し、課題解決力を養います。

### 卒業後の進路

#### コミュニティデザイン学科

地域政策学コース/社会福祉学コース

地域におけるさまざまな課題に向きあい、まちづくりや福祉の相談・援助など、実践的な手法を学びながら解決の方向を見出していきます。

- ポイント01** 大学を出て、地域を訪れ、課題を探し、現場主義の学び。
- ポイント02** 演習(ゼミ)を中心とする、プロジェクト型学習。
- ポイント03** 人と会う、聞く、話す、実践力が身につく4年間。

#### 現代社会学科

公共社会/人間関係/現代文化

学生の興味・関心のある、あらゆることが学びの対象です。自由なテーマ設定のもと、社会学の専門的なものの見方、フィールドワーク、社会調査、分析方法を学んでいきます。

- ポイント01** 幅広いテーマを、自由かつ柔軟に探究する学び。
- ポイント02** 演習(ゼミ)や、プロジェクト型研究などのアクティブ・ラーニング。
- ポイント03** 現代社会に求められる、調査・分析力が身につく4年間。

#### ～卒業後の進路～

コミュニティデザイン学科

- 国家公務員、地方公務員、■ 観光、販売、銀行、社会的起業家
- NPO、教育、医療、福祉、公共交通、通信などの公共団体

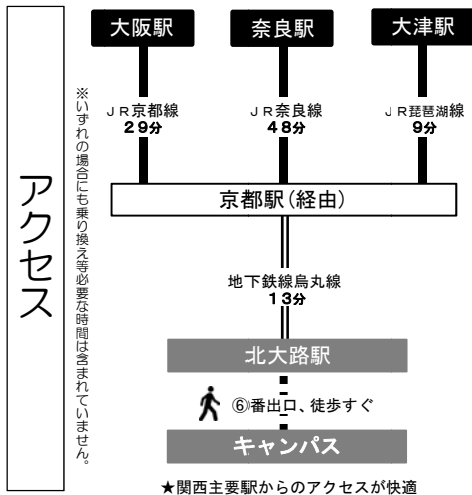
現代社会学科

- 報道、出版、販売、サービス、観光、銀行など
- 国家公務員、地方公務員 ■ 自営業、起業家

### 初年度学費 他大学との比較

大学名学部 (所在地)	学費	(学費の内訳)	
		入学金	授業料等
大谷大学社会学部 (京都府京都市)	1,190,000円	250,000円	940,000円
立命館大学 産業社会学部 (京都府京都市)	1,271,400円	300,000円	971,400円
佛教大学社会学部 (京都府京都市)	1,270,000円	170,000円	1,100,000円
追手門大学社会学部 (大阪府茨木市)	1,165,000円	260,000円	905,000円
神戸学院大学 現代社会学部 (兵庫県神戸市)	1,300,000円	300,000円	1,000,000円

※学費は2017年度実績(大谷大学のみ2018年度予定)。  
 ※立命館大学産業社会学部の学費は子ども社会専攻を除いた実績。



アクセス

※いずれの場合にも乗り換え等必要な時間は含まれていません。

★関西主要駅からのアクセスが快適

上記は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

以下は大谷大学が2018年に設置構想中の「教育学部教育学科(仮称)の概要」です。

## 大谷大学 教育学部教育学科 (仮称) 設置構想中

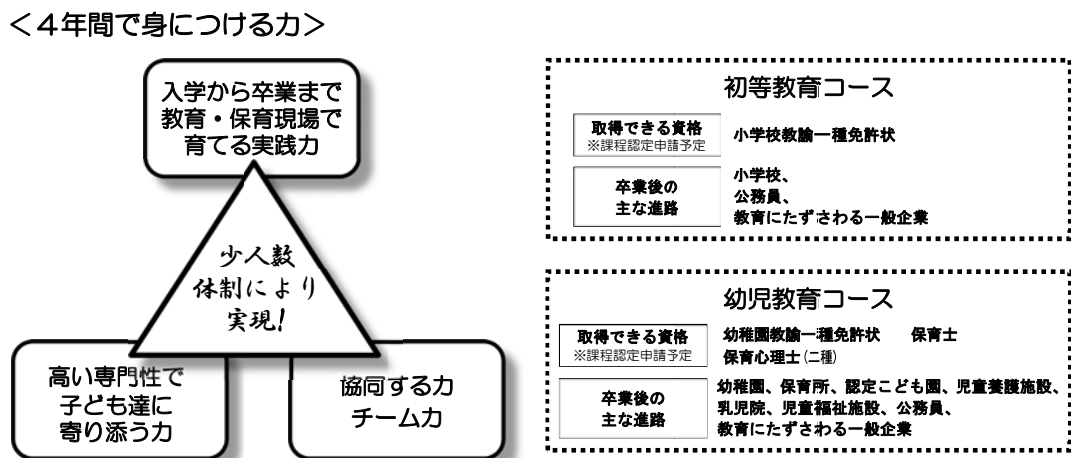
少人数体制で、確実な実践力を身につけます。

学部学科の概要

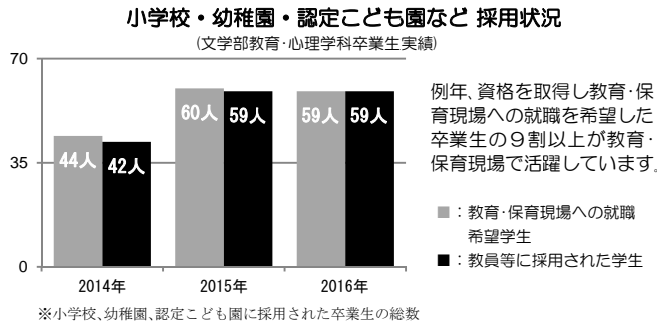
開設時期 2018年4月(予定)  
 開設場所 京都府京都市北区小山上総町  
 修業年限 4年  
 入学定員 130人  
 (初等教育コース:50人 幼児教育コース:80人)

取得学位 学士(教育学)  
 養成する人材 **初等教育コース** 子どものところに寄り添える教員になることを目標に、授業を行う基礎力だけでなく、運動会などの特別活動を実践する力も養成します。  
**幼児教育コース** 幼稚園や保育園、認定こども園はもちろん、児童養護施設など、多様な領域で活躍できる保育者を養成します。

学部学科の特色



卒業後の進路



2016年3月卒業生 教員等採用実績

進路	人数
小学校	47人
幼稚園	7人
認定こども園	3人
その他	2人

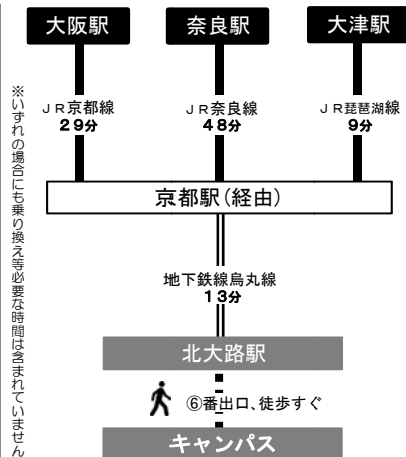
※講師を含む。  
 ※新たに開設される幼児教育コースについては、短期大学の幼稚園教諭・保育士養成の実績(ほぼ100%)をもとに、高い就職率を実現します。

初年度学費他大学との比較

大学名学部 (所在地)	学費	(学費の内訳)	
		入学金	授業料等
大谷大学教育学部 (京都府京都市)	1,290,000円	250,000円	1,040,000円
京都橘大学 人間発達学部 (京都府京都市)	1,326,000円	200,000円	1,126,000円
佛教大学教育学部 (京都府京都市)	1,320,000円	170,000円	1,150,000円
大阪成蹊大学 教育学部 (大阪府大阪市)	1,410,000円	250,000円	1,160,000円
大和大学教育学部 (大阪府吹田市)	1,360,000円	180,000円	1,180,000円

※学費は2017年度実績(大谷大学のみ2018年度予定)。  
 ※京都橘大学人間発達学部の学費は児童教育学部の実績。

アクセス



★関西主要駅からのアクセスが快適

上記は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

問9・問10は問6で「2.教育学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

**問9** 教育学部(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

1. 入学したい
2. 併願大学の結果によっては入学したい

**問9-2** 問9で2を選択された方は併願先をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○印)

1. 他大学の教育学部
2. 他大学の教育学部**以外**の学部
3. 大谷大学文学部
4. その他 ( )

**問10** 教育学部(仮称)で「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」と思っている学科-コースをお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

1. 教育学科-初等教育コース(仮称)
2. 教育学科-幼児教育コース(仮称)

問11は問6で「3.社会学部(仮称)と教育学部(仮称)を受験したい」を選択された方がお答えください。

**問11** 受験し合格した場合、入学したいと思う学部・学科をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

1. 社会学部 コミュニティデザイン学科(仮称)
2. 社会学部 現代社会学科(仮称)
3. 教育学部 教育学科-初等教育コース(仮称)
4. 教育学部 教育学科-幼児教育コース(仮称)
5. 他大学社会学系統の学部・学科
6. 他大学教育学系統の学部・学科
7. その他 ( )

以下の問12・問13は、問6で「4.社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」を選択された方がお答えください

**問12** 「社会学部(仮称)、教育学部(仮称)とも受験しない」と回答された理由をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○印)

1. 構想内容に魅力を感じないから
2. 興味・関心のある学問分野ではないから
3. 興味・関心のある学問分野であるが、他大学への進学を目指しているから
4. 自宅から通学が不便だから
5. もっと詳しい情報を得た上で検討したいから
6. 学費が高いから
7. 大学進学はしないから (短期大学・専門学校への進学や就職を希望)
8. その他

( )

**問13** あなたは現時点で大谷大学文学部を受験したいと思っていますか。(あてはまるもの1つに○印)

1. 受験したい
2. 受験しない

質問は以上です。ありがとうございました。

**【添付②】**

「社会学部 設置構想についての  
企業・公的機関・団体向けアンケート調査」

## 設置構想についての人材需要アンケート調査

【対象：企業・公的機関・団体等の人事・採用ご担当者様】

2018年4月、大谷大学(京都府京都市北区小山上総町)は文学部の社会学科(定員120人)と人文情報学科(定員100人)を改組し、社会学部コミュニティデザイン学科(仮称・定員100人)および社会学部現代社会学科(仮称・定員120人)の設置を構想しています。

本学では企業・公的機関・団体等の皆様から率直なご意見を賜ることで、より充実した教育を行い、社会に貢献しうる人材輩出を行っていきたくと考えております。ご多忙の折に、大変恐れ入りますが、本アンケートのご協力を謹んでお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた皆様から寄せられた情報は、大谷大学の施設学部学科構想に係る統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することは一切ありません。

※このアンケート調査は、大谷大学から委託された第三者機関(株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

### 問1 業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 建設業       | 2. 製造業       | 3. 情報通信業     | 4. 運輸業        |
| 5. 卸売・小売業    | 6. 金融・保険業    | 7. 不動産業      | 8. 飲食サービス・宿泊業 |
| 9. 医療・福祉     | 10. 教育・学習支援業 | 11. その他サービス業 | 12. 電気・ガス・水道業 |
| 13. 水産・農林・鉱業 | 14. 公的機関・団体  | 15. その他( )   |               |

### 問2 所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。(あてはまる番号を記入)

- |                               |          |         |         |         |         |         |          |          |
|-------------------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 番号記入欄<br><input type="text"/> | 【北海道・東北】 | 1. 北海道  | 2. 青森県  | 3. 岩手県  | 4. 宮城県  | 5. 秋田県  | 6. 山形県   | 7. 福島県   |
|                               | 【関東】     | 8. 茨城県  | 9. 栃木県  | 10. 群馬県 | 11. 埼玉県 | 12. 千葉県 | 13. 東京都  | 14. 神奈川県 |
|                               | 【北陸・甲信越】 | 15. 新潟県 | 16. 富山県 | 17. 石川県 | 18. 福井県 | 19. 山梨県 | 20. 長野県  |          |
|                               | 【東海】     | 21. 岐阜県 | 22. 静岡県 | 23. 愛知県 | 24. 三重県 |         |          |          |
|                               | 【近畿】     | 25. 滋賀県 | 26. 京都府 | 27. 大阪府 | 28. 兵庫県 | 29. 奈良県 | 30. 和歌山県 |          |
|                               | 【中国】     | 31. 鳥取県 | 32. 島根県 | 33. 岡山県 | 34. 広島県 | 35. 山口県 |          |          |
|                               | 【四国】     | 36. 徳島県 | 37. 香川県 | 38. 愛媛県 | 39. 高知県 |         |          |          |
| 【九州・沖縄】                       | 40. 福岡県  | 41. 佐賀県 | 42. 長崎県 | 43. 熊本県 | 44. 大分県 | 45. 宮崎県 | 46. 鹿児島県 |          |
|                               |          | 47. 沖縄県 |         |         |         |         |          |          |

### 問3 従業員規模をお答えください。(あてはまるもの1つに○印)

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1. 100人未満  | 2. 100人以上  | 3. 500人以上 |
| 4. 1000人以上 | 5. 5000人以上 |           |

### 問4 新卒者を採用する際に、求める能力等をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

- |                |                   |                |
|----------------|-------------------|----------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 基礎的な学力         | 3. 専攻学問の専門的な知識 |
| 4. 語学力         | 5. 考え抜く力          | 6. 前に踏み出す力     |
| 7. 目的達成志向      | 8. 適応力            | 9. インターンシップ経験  |
| 10. ボランティア経験   | 11. 忍耐力           | 12. 理解力        |
| 13. 論理力        | 14. 取得資格・免許(見込含む) |                |

以下は大谷大学が2018年に設置構想中の「社会学部(仮称)の概要」です。

## 大谷大学 社会学部 (仮称) 設置構想中

社会と、地域と、つながる人物を育成します。

### 学部学科の概要

開設時期	2018年4月(予定)
開設場所	京都府京都市北区小山上総町
設置学科	<b>コミュニティデザイン学科</b> (入学定員100人) <b>現代社会学科</b> (入学定員120人)
修業年限	4年
取得学位	学士(社会学)
養成する人材	<b>コミュニティデザイン学科</b> 演習と実習を連動させたプロジェクト型学習に取り組み、人と人をつなぎ、活力のある地域(コミュニティ)を創造(デザイン)していくことができる人物を養成します。 <b>現代社会学科</b> 社会学的考察力、調査分析力等を養い、社会現象を的確に捉え、社会と人の関係や問題と向きあうことができる人物を養成します。

### 学部学科の特色及び卒業後の進路

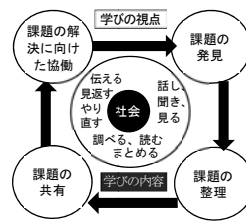
#### ～学びの特色～



社会や地域とつながる学びの活動拠点「コミュ・ラボ(地域連携室)」。大学を飛び出して、地域や各機関の皆さんとともに考え、アクションを起こしていく活動「プロジェクト」を展開していきます。

- \* 京都・祇園祭ゴミゼロ大作戦への参加
- \* 中川区の暮らし再発見プロジェクト
- \* 京都府北部福祉フィールドワーク

#### ～学びのサイクル～



テーマについて、「話し、聞き、見る」「調べる、読む、まとめる」「伝える、見返す、やり直す」のプロセスを経験します。そのなかで、課題の「発見」「整理」「共有」「解決に向けた協働」のサイクルを实践し、課題解決力を養います。

#### コミュニティデザイン学科

地域政策学コース/社会福祉学コース

地域におけるさまざまな課題に向きあい、まちづくりや福祉の相談・援助など、実践的な手法を学びながら解決の方向を見出していきます。

- ポイント01 **大学を出て、地域を訪れ、課題を探し、現場主義の学び。**
- ポイント02 **演習(ゼミ)を中心とする、プロジェクト型学習。**
- ポイント03 **人と会う、聞く、話す、実践力が身につく4年間。**

#### 現代社会学科

公共社会/人間関係/現代文化

学生の興味・関心のある、あらゆることが学びの対象です。自由なテーマ設定のもと、社会学の専門的なものの見方、フィールドワーク、社会調査、分析方法を学んでいきます。

- ポイント01 **幅広いテーマを、自由かつ柔軟に探究する学び。**
- ポイント02 **演習(ゼミ)や、プロジェクト型研究などのアクティブ・ラーニング。**
- ポイント03 **現代社会に求められる、調査・分析力が身につく4年間。**

#### ～卒業後の進路～

コミュニティデザイン学科

- 国家公務員、地方公務員、■ 観光、販売、銀行、社会的起業家
- NPO、教育、医療、福祉、公共交通、通信などの公共団体

現代社会学科

- 報道、出版、販売、サービス、観光、銀行など
- 国家公務員、地方公務員 ■ 自営業、起業家

上記は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

以下は、「大谷大学社会学部(仮称)の概要」をご覧の上でお答えください。

**問5** 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。  
(学科ごとに、あてはまるもの1つに○印)

A. コミュニティデザイン学科(仮称)

1. ニーズは極めて高い
2. ニーズはある程度高い
3. どちらとも言えない
4. ニーズは高くない

B. 現代社会学科(仮称)

1. ニーズは極めて高い
2. ニーズはある程度高い
3. どちらとも言えない
4. ニーズは高くない

**問6** 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)が養成する人材を将来採用したいと思われますか。  
(あてはまるもの1つに○印)

1. 採用したいと思う
2. 採用を検討したいと思う
3. どちらとも言えない
4. 採用したいと思わない

**問7** 「問6」で「1. 採用したいと思う」「2. 採用を検討したいと思う」とお答えいただいた場合、ご回答ください。現時点で、採用可能と思われる人数は何人ですか。  
(学科ごとに、人数を記入)

A. コミュニティデザイン学科(仮称)の学生

 人

B. 現代社会学科(仮称)の学生

 人

**問8** 過去に大谷大学の卒業生を採用された実績についてお答えください。  
(あてはまるもの1つに○印)

1. 過去に採用実績がある
2. 過去に採用実績はない
3. わからない

次ページに続く



**問9** 大谷大学が設置構想中の社会学部(仮称)に対して、期待される点や要望がありましたらご自由にお書きください。



質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

京都地区大学 社会学系学部 入学初年度学費等年間納付額(2017年度)一覧

大学	学部	学科	入学初年度年間納付額			
			入学金	授業料	施設費 教育充実費	総額
大谷大学	社会学部	現代社会学科	250,000	840,000	100,000	1,190,000
大谷大学	社会学部	コミュニティデザイン学科	250,000	840,000	100,000	1,190,000
龍谷大学	社会学部	社会学科、コミュニティマネジメント学科、現代福祉学科	200,000	761,000	60,000	1,021,000
龍谷大学	政策学部	政策学科	200,000	761,000	60,000	1,021,000
京都橘大学	現代ビジネス学部	都市デザイン環境学科(公共政策)	200,000	870,000	50,000	1,120,000
京都産業大学	現代社会学部	現代社会学学科、健康スポーツ社会学科	270,000	758,000	108,000	1,136,000
同志社大学	社会学部	社会学科、社会福祉学科	200,000	828,000	149,000	1,177,000
同志社大学	政策学部	政策学科	200,000	828,000	149,000	1,177,000
花園大学	社会福祉学部	社会福祉学科	200,000	799,000	200,000	1,199,000
京都女子大学	現代社会学部	現代社会学科	250,000	780,000	220,000	1,250,000
佛教大学(2016年度実績)	社会福祉学部	社会福祉学科	170,000	900,000	200,000	1,270,000
佛教大学(2016年度実績)	社会学部	現代社会学科、公共政策学科	170,000	900,000	200,000	1,270,000
立命館大学	産業社会学部	現代社会学科(現代社会学、人間福祉、メディア社会)	300,000	971,400		1,271,400
同志社女子大学	現代社会学部	社会システム学科	260,000	742,000	300,000	1,302,000
京都文教大学	総合社会学部	総合社会学科	180,000	960,000	240,000	1,380,000

\* 各大学のホームページ等を参照し本学が作成した

## オープンキャンパス参加人数推移(2015-2016)

2016年度		
実施日		人数
		総来場者数
2016年	6月 12日(日)	496
	7月 17日(日)	563
	8月 6日(土)	451
	8月 7日(日)	574
	8月 21日(日)	524
	9月 18日(日)	280
	10月 2日(日)☆	72
	12月 11日(日)☆	88
2017年	3月 20日(月・祝)	527
合計		3,575

2015年度		
実施日		人数
		総来場者数
2015年	6月 14日(日)	487
	7月 19日(日)	481
	8月 1日(土)	467
	8月 2日(日)	580
	8月 23日(日)	521
	9月 20日(日)	337
	10月 11日(日)	156
	12月 13日(日)☆	72
2016年	3月 21日(月・祝)	323
合計		3,424

# 2012年度～2016年度 大谷大学・大谷大学短期大学部 資料請求数一覧

※2012年4月1日～2017年3月31日までの資料請求者数

※資料請求数はこのべ数で算出

	全体							高等学校 3年生(現役)のみ						
	2012	2013	2014	2015	2016	2015と2016の差	2015と2016の比	2012	2013	2014	2015	2016	2015と2016の差	2015と2016の比
全学	29,472	27,727	28,643	29,369	39,376	10,007	134.1%	15,365	14,191	14,227	13,986	16,538	2,552	118.2%
文学部(学科名記載無し)	12,320	12,911	14,789	15,727	20,580	4,853	130.9%	5,825	5,626	6,285	6,867	8,656	1,789	126.1%
文学部 真宗学科	312	322	275	262	284	22	108.4%	182	176	146	143	129	-14	90.2%
文学部 仏教学科	298	270	229	215	232	17	107.9%	173	139	108	109	100	-9	91.7%
文学部 哲学科	400	364	323	297	357	60	120.2%	241	220	161	150	165	15	110.0%
文学部 社会学科	1,474	1,295	1,300	1,678	2,252	574	134.2%	1,029	905	889	965	1,010	45	104.7%
文学部 歴史学科	942	1,058	794	827	1,699	872	205.4%	630	642	537	499	614	115	123.0%
文学部 文学科	2,389	1,374	1,304	1,196	1,800	604	150.5%	1,585	980	937	817	815	-2	99.8%
文学部 国際文化学科	1,317	1,150	1,177	1,447	1,799	352	124.3%	743	660	693	654	648	-6	99.1%
文学部 人文情報学科	616	582	503	608	1,011	403	166.3%	338	363	271	342	264	-78	77.2%
文学部 教育・心理学科	3,902	3,334	3,215	3,436	4,718	1,282	137.3%	2,176	1,969	1,791	1,683	1,835	152	109.0%
無記入	1,999	1,731	1,432	1,133	1,289	156	113.8%	576	849	728	523	588	65	112.4%

文学部 社会学科 就職勤務地別卒業生数

2015年3月卒業生		
京都府	36	40.9%
大阪府	14	15.9%
滋賀県	13	14.8%
東京都	12	13.6%
福井県	2	2.3%
広島県	2	2.3%
北海道	1	1.1%
富山県	1	1.1%
愛知県	1	1.1%
兵庫県	1	1.1%
奈良県	1	1.1%
和歌山県	1	1.1%
岡山県	1	1.1%
高知県	1	1.1%
福岡県	1	1.1%
小計	88	100.0%

71.6%

2016年3月卒業生		
京都府	30	37.0%
大阪府	17	21.0%
滋賀県	12	14.8%
東京都	8	9.9%
兵庫県	4	4.9%
愛知県	3	3.7%
広島県	3	3.7%
埼玉県	1	1.2%
富山県	1	1.2%
岐阜県	1	1.2%
三重県	1	1.2%
小計	81	100.0%

72.8%

2017.4.17キャリアセンター